金沢大学概要

OUTLINE OF KANAZAWA UNIVERSITY

2020

目 次

金沢大学概要2020

金沢大学憲章	03
沿革	04
組織	06
プロフィール編	
人間社会学域	08
理工学域	09
医薬保健学域	10
大学院	
人間社会環境研究科	10
自然科学研究科	11
医薬保健学総合研究科	12
先進予防医学研究科	12
新学術創成研究科	13
法学研究科	13
教職実践研究科	13
国際基幹教育院	14
別科	14
研究域附属研究センター	15
附属施設・学内共同教育研究施設等	15
その他の施設等	20
資料編	
金沢大学データ　ダイジェスト	21
役職員	22
職員数	24
財務状況	25
学域・学類・研究科等	26
学生数	28
入学志願者および入学状況（学域等）	31
卒業者・修了者数（学位授与数）および進路状況	32
国際交流	34
科研費・外部資金受入等	41
附属病院	42
附属図書館	43
土地・建物および所在地	44
建物配置図	46
キャンパス位置図	50
校歌	51

角間キャンパス　令和元年5月撮影
（高度 2,500feet　レンズ 45mm）

金沢大学憲章

学長　山崎 光悦

人類は長い歴史の中で，創造と破壊を繰り返しながらも自然及び社会の諸現象に対する理解を深め，公共性の高い文化を育んできた。学術研究を預かる大学は，知の創造と人材の育成をもって世代を繋ぎ多様な社会の形成と発展に貢献してきた。そして世界は今や国家の枠を越え，多くの人々が地球規模で協同する時代を迎えている。

前身校の歴史を引き継ぎ1949年に設立された金沢大学は，戦後の激動の時代を歩み，我が国と世界の発展に一定の役割を果たしてきたが，国立大学法人となるこの機会に，「社会のための大学」とは何であるかを改めて問い質さねばならない。

金沢大学は，本学の活動が21世紀の時代を切り拓き，世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち，「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置付けをもって改革に取り組むこととし，その拠って立つ理念と目標を金沢大学憲章として制定する。

教 育

■金沢大学は，各種教育機関との接続，社会人のリカレント教育，海外からの留学，生涯学習等に配慮して，多様な資質と能力を持った意欲的な学生を受け入れ，学部とそれに接続する大学院において，明確な目標をもった実質的な教育を実施する。

■金沢大学は，学生の個性と学ぶ権利を尊重し，自学自習を基本とする。また，教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して，専門知識と課題探求能力，さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する。

研 究

■金沢大学は，真理の探究に関わる基礎研究から技術に直結する実践研究までの卓越した知の創造に努め，それらにより新たな学術分野を開拓し，技術移転や産業の創出等を図ることで積極的に社会に還元する。

■金沢大学は，人文社会，自然科学及び医学の学問領域や，基礎と応用など研究の性格にかかわらず，構成員が学問の自由と健全な競争をもって主体的に研究を進める環境を整備する。また，萌芽的研究や若手研究者の育成に努め，常に新しさに挑戦し個性を引き出す体制を維持する。

社会貢献

■金沢大学は，本学の有する資源を活用し，地域における学術文化の発展と教育・医療・福祉等の基盤づくりに貢献し，北陸さらには東アジアにおける知の拠点として，グローバル化の進む世界に向けて情報を発信する。

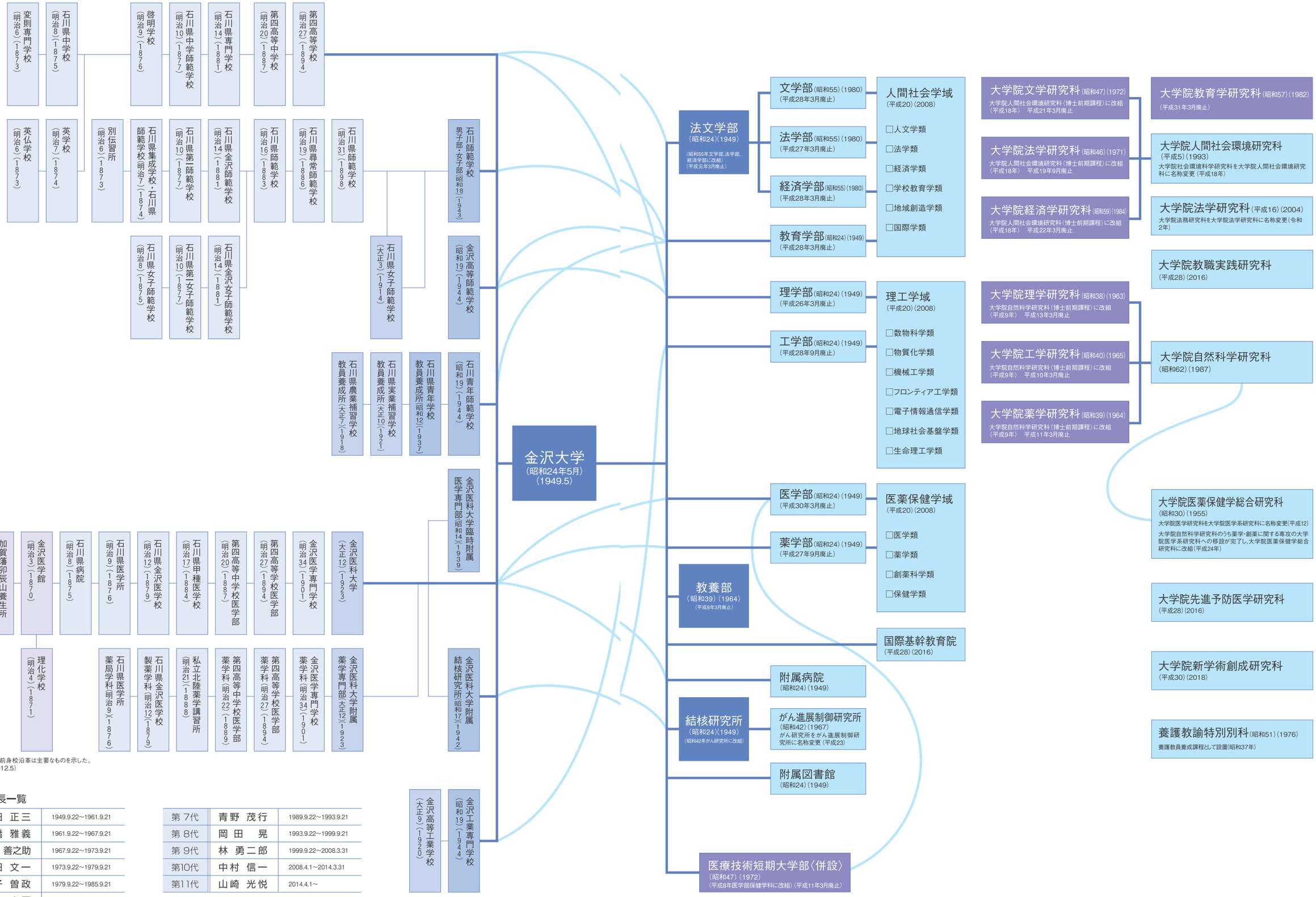
■金沢大学は，入学前から卒業後に及ぶ学生教育の拡大，研究成果である知的財産の発掘・管理と社会への積極的な還元，さらには高度先端医療の発展と普及に努め，「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の責務に応える。

運 営

■金沢大学は，それぞれの部局が専門性と役割に基づき独自性を発揮しつつ，全学的にそれらを有機的に連関させ，自主的・自律的に運営する。また，計画の達成度を評価し，組織・制度の見直しを含めて不断の改革を進める。

■金沢大学は，国からの交付と自己収入から成る資金を厳格かつ計画的に活用するとともに，人権を尊重し，すべての構成員が職務に専念できる安全な環境を提供する。また，公共に奉仕する国立大学法人としての社会的な説明責任に応える。

沿革



※昭和24年(1949)以前の前身校沿革は主要なものを示した。
金沢大学資料館監修(2012.5)

金沢大学歴代学長一覧

初代	戸田 正三	1949.9.22～1961.9.21
第2代	石橋 雅義	1961.9.22～1967.9.21
第3代	中川 善之助	1967.9.22～1973.9.21
第4代	豊田 文一	1973.9.22～1979.9.21
第5代	金子 曽政	1979.9.22～1985.9.21
第6代	本陣 良平	1985.9.22～1989.9.21
第7代	青野 茂行	1989.9.22～1993.9.21
第8代	岡田 晃	1993.9.22～1999.9.21
第9代	林 勇二郎	1999.9.22～2008.3.31
第10代	中村 信一	2008.4.1～2014.3.31
第11代	山崎 光悦	2014.4.1～

組 織

運営組織

- 学長
  - 学長補佐（若干名）
- 役員会
  - 理事（7名）〔うち4名は副学長を兼ねる／うち1名は副学長と事務局長を兼ねる〕
    - 基幹会議
    - 先端科学・社会共創推進機構
    - 国際機構
  - 副学長（9名）〔うち5名は理事を兼ねる〕
  - 事務局長
- 教育研究評議会
- 経営協議会
- 大学改革推進委員会
  - スーパーグローバル大学企画・推進本部
- 監事（2名）
- 総合相談室
- グローバル人材育成推進機構

事務組織・技術支援組織

- 法人監査室
- 企画評価室
- 総合技術部
- 学長秘書室
- 総務部
  - 総務課
  - 人事課
  - 職員課
  - 広報室
- 財務部
  - 財務企画課
  - 財務管理課
- 施設部
  - 施設企画課
  - 施設管理課
  - 宝町施設支援室
- 研究・社会共創推進部
  - 研究推進課
  - 地域共創推進課
  - 産学連携推進課
- 学務部
  - 学務課
  - 基幹教育支援課
  - 学生支援課
  - 入試課
  - 融合学域設置推進室
- 国際部
  - 国際企画課
  - 留学企画課
- 情報部
  - 情報企画課
  - 情報サービス課
  - 情報推進課
- 人間社会系事務部
  - 総務課
  - 会計課
  - 学生課
- 理工系事務部
  - 総務課
  - 会計課
  - 学生課
- 医薬保健系事務部
  - 総務課
  - 会計課
  - 学生課
  - 薬学・がん研支援課
  - 保健学支援課
- 病院部
  - 総務課
  - 経営管理課
  - 医事課
  - 医療支援課
- スーパーグローバル大学企画・推進室
- 卓越大学院プログラム推進室
- ナノ生命科学研究所事務室
- 学友支援室
- 基金室

教育研究組織

- 学士
  - 人間社会学域
    - 人文学類
    - 法学類
    - 経済学類
    - 学校教育学類
      - 附属幼稚園
      - 附属小学校
      - 附属中学校
      - 附属高等学校
      - 附属特別支援学校
      - 附属教育実践支援センター
    - 地域創造学類
    - 国際学類
  - 理工学域
    - 数物科学類
    - 物質化学類
    - 機械工学類
    - フロンティア工学類
    - 電子情報通信学類
    - 地球社会基盤学類
    - 生命理工学類
    - 能登海洋水産センター
  - 医薬保健学域
    - 医学類
    - 薬学類
    - 創薬科学類
      - 附属薬用植物園
    - 保健学類
- 大学院
  - 人間社会環境研究科（博士課程（前期・後期課程））
    - 総合教育部
    - GS教育系
    - 外国語教育系
    - 高等教育開発・支援系
    - 養護教諭特別別科（1年制）
    - 融合科学系
  - 自然科学研究科（博士課程（前期・後期課程））
    - 人間科学系
    - 歴史言語文化学系
    - 法学系
    - 経済学経営学系
    - 学校教育学系
    - 地域政策研究センター
    - 国際文化資源学研究センター
    - 数物科学系
    - 物質化学系
    - 機械工学系
    - フロンティア工学系
    - 電子情報通信学系
    - 地球社会基盤学系
    - 生命理工学系
    - 先端宇宙理工学研究センター
  - 医薬保健学総合研究科（修士課程，博士課程（前期・後期課程，医学4年の課程，薬学4年の課程））
    - 医学系
    - 薬学系
    - 保健学系
  - 先進予防医学研究科（博士課程）
    - 中央図書館
    - 自然科学系図書館
    - 医学図書館
  - 新学術創成研究科（博士課程（前期・後期課程））
  - 法学研究科（修士課程・専門職学位課程）
  - 教職実践研究科（専門職学位課程）
- 国際基幹教育院
- 別科
  - 養護教諭特別別科（1年制）
- 研究域
  - 融合研究域
    - 実験動物研究施設
    - 遺伝子研究施設
    - アイソトープ総合研究施設
    - アイソトープ理工系研究施設
    - 機器分析研究施設
    - 低レベル放射能実験施設
    - 尾小屋地下測定施設
    - 臨海実験施設
    - 植物園
    - インキュベーション施設
    - 社会共創推進室
    - 設備共同利用推進室
    - ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
    - スーパーグローバルELPセンター
  - 人間社会研究域
  - 理工研究域
  - 医薬保健研究域
- 附属病院
- 附置研究所等
  - がん進展制御研究所
  - ナノ生命科学研究所
  - ナノマテリアル研究所
  - 設計製造技術研究所
- 附属図書館
- 学内共同教育研究施設
  - 総合メディア基盤センター
  - 環日本海域環境研究センター
  - 学際科学実験センター
  - 子どものこころの発達研究センター
  - 先進予防医学研究センター
  - 環境保全センター
- 保健管理センター
- グローバル人材育成推進機構
- 新学術創成研究機構
- 先端科学・社会共創推進機構
- 国際機構
- 学内共同利用施設
  - 極低温研究室
  - 資料館
  - 埋蔵文化財調査センター
  - 技術支援センター
- 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
- 高大接続コア・センター

人間社会学域

人文学類

人文学諸領域の学習を通じて明晰な思考力と表現能力を涵養し，創造力豊かな人材を育てる

思想・歴史・文化・文学・言語などの研究を通して，人間の行動や思考・創造のあり方を考えます。その研究教育の領域は，心理学から現代社会・人間学，考古学・文化資源学，歴史学，日本・中国言語文化学，欧米言語文化学，言語科学と多岐にわたっています。7つのプログラム（28の標準的履修モデル）を設け，プログラムは2年進級時に選択します。副専攻制度の導入など選択の幅を広げ，研究志望や人生設計に対応した教育を行っています。

法学類

よりよい社会実現のために，法的・政策的な観点から複雑な問題の解決を図り，社会に貢献する

高度に専門化・多様化した現代社会において，複雑に絡み合った問題を解決するためには，社会に対する幅広い関心をベースに自発的かつ意欲的に課題発見に挑むとともに，その解決に必要な知識と能力を身につけることが不可欠です。
「公共法政策コース」，「企業関係法コース」，「総合法学コース」の3つのコースを設け，現実社会のダイナミズムの中で機能する法的な知識や手法の修得を目指します。

経済学類

現代社会に対する問題意識と課題解決に向けて行動できる人材を育成する

経済学類では，金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）に立脚しつつ，以下の5つの人材養成目標を掲げています。
①幅広い教養，知識，判断力を持った社会で活躍できる人材を養成します。②経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成します。③現代社会に対する強い問題意識を持ち，自分自身の力で課題を発見し，解決する能力を持った人材を養成します。④高いコミュニケーション能力（外国語によるものも含む），プレゼンテーション能力，ICT能力を養います。⑤地域社会が抱える問題に強い関心を持ち，そこに積極的に関わることのできる人間性豊かな人材を養成します。

学校教育学類

専門的な知識，技能，教える能力を養いながら，子どもたちの内面に寄り添い，生きる希望と勇気を与える教師の育成を目指す

小学校，中学校，特別支援学校などの教師を組織的，計画的に養成するとともに，学校現場で生じている様々な課題に的確に対応できる能力を身につけます。
子どもたちに学ぶことの意味と喜びを伝え，豊かな世界観を育てていくためには，専門的な知識や技能とともに，子どもを理解して子どもの成長を支援する能力も不可欠です。このような実践的指導力を持った教師を育成するため，実習的な授業科目や学校現場での教育実習などに重きを置いた教育を行います。

地域創造学類

地域創造学を核とする新しい知的分野の創出のもと，地域が直面する課題に果敢に挑戦する

地域に暮らす一人ひとりの幸福を探求する最先端の研究領域「地域創造学」の学修と実践を通じて，次代の地域づくりリーダーの養成を目指します。
学類コア科目で地域創造学を学びながら，各コースで専門テーマを学びます。演習や実習，論文指導のきめ細かな少人数教育を基本に，現場での実習教育を重視しています。

国際学類

国際社会への深い洞察力と豊かなコミュニケーション力を存分に生かしながら，グローバル化する社会において活躍できる国際人を目指す

グローバル化が進んだ21世紀に，国際社会および日本への深い洞察力を持ち，異文化との〈しなやかな共生〉を実現できる真の国際人を育成することを目的とし，異文化への関心と探究心，高度なコミュニケーション能力を持ち，将来国際的業務で活躍できる人材を育てます。
日本と国際社会を多面的・総合的に学び，理解を深めるために，「国際社会」「日本・日本語教育」「アジア」「米英」「ヨーロッパ」の5つのコースを設けています。

理工学域

数物科学類

数学，物理学，計算科学の「叡智」を駆使して森羅万象の根源的探究に挑み，科学的な思考力と創造力を養う

自然科学の基礎をなす数学と物理学は，コンピュータの進歩により誕生した計算科学によって新たな時代を迎え，あまりにも複雑で扱えなかった自然現象の解明や理論の検証が可能となりつつあります。数物科学類では，この3つの学問を有機的に総合した教育と研究を行い，これらの学問の発展や次世代への継承に寄与できる人材，また社会の様々な分野において，科学が培った論理的思考力と創造力を生かして活躍する人材を育てます。

物質化学類

原子・分子から生命・地球環境・宇宙まで—化学の探求を通じて科学的探究心と創造的能力を育む

化学は，自然界で起こる様々な現象の原子・分子レベルでの理解から，21世紀に必要となる環境に適合した新しい機能性物質の創製，さらに様々な日常の生活を支える化学製品の開発と製造過程に至るまでの幅広い領域を含んでいます。化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献することができる人材を養成するとともに，社会の様々な分野でリーダーとして活躍できる人材を育成します。

機械工学類

自然，人間社会との調和を図りながら，モノづくり工学で人類に貢献するエンジニア，研究者を目指す

高度複雑化する現代産業社会，イノベーション（技術革新）の牽引役としての機械工学の重要性はますます高まっています。エネルギー，環境と経済をともに発展させる持続型社会の構築のため，自然や人間・社会との調和を図りつつ，モノづくり工学の持つ社会的使命と責任を果たす機械技術者・研究者の育成を目指します。

フロンティア工学類

近未来社会を支える先端テクノロジーを，工学の融合で切り拓く

技術革新が急速に進む現代社会では，さまざまな工学の知識や技を組み合わせて，未来社会を切り拓いていく能力が求められています。フロンティア工学類では，これらの能力を身につけるために，従来の工学の専門分野（電子機械，機械，化学工学，電子情報）に対応するコアプログラムを学んだのち，先進的な6つのフロンティアプログラムを選択し，従来の工学の枠を超えた未踏領域～フロンティア～を開拓する素養を身につけます。

電子情報通信学類

豊かで快適な未来社会に向けて，最先端のエネルギー，エレクトロニクス，情報通信およびコンピュータ技術に挑む

クリーンでエコなより良い生活環境実現のため必要不可欠となるエネルギー，エレクトロニクス，情報通信およびコンピュータ技術は相互に強く関連し，現代社会の中で極めて大きな役割を果たしています。これらの分野を体系的に学ぶことによって，未来志向の創造力を養い，今後の高度情報化社会にグローバルな視点から貢献する技術者，研究者の育成を目指します。

地球社会基盤学類

地球科学から社会基盤まで—環境と共生する未来をつくる科学者・技術者・教育者を育てる

地球と生命の46億年の歴史および環境や自然災害，インフラストラクチャーを対象に，理学と工学の両面から，地球惑星科学，土木工学，都市工学および環境工学に関わる総合的かつ実践的な教育を行います。そして，地球とその表層環境，豊かな社会を構築するための先端科学技術を総合的に理解し，地球をとりまく自然現象の多角的な解明，安全で快適な社会基盤の構築・維持，魅力ある都市・環境づくりができる人材を育成します。

生命理工学類

生命の原理を究め，生物の機能を利用したものづくりを担う研究者，技術者，教育者を目指す

生きた個体や細胞にふれながら生物学の面白さを体験する実物教育を通して，生命科学，環境科学，海洋資源工学，生命工学の基礎から最先端までの知識を学びます。現代社会において，これらの知識はあらゆる分野で必要とされ，基盤となるものです。分子レベルから群集レベルに至るまでのさまざまな生命現象に関する原理や，その原理を応用した科学技術について教育を行い，生命の探究と利用において革新的な進展をもたらすとともに，持続可能な文明社会の発展を牽引できる人材を育成することを目指します。

医薬保健学域

医学類（6年制）

最先端の知識と技術，そして何よりも人間とのふれあいを通じて，人間性豊かで社会に貢献できる医師・医学者を育てる

医学に対する興味，幅広い教養，豊かな感性と人間性への深い洞察力を持つとともに，コミュニケーション能力を備え，患者中心の全人的医療ができる医師・医学者を育てることを目標としています。
医師・医学者に求められる基本的な医学知識を学びながら，医学研究や診療の現場を積極的に体験し，人間性についての理解と共感を深めていきます。よりよい医療，健康，福祉の推進を通じて社会に貢献できる医師・医学者を，6年間にわたる教育により育成します。

薬学類（6年制）創薬科学類（4年制）

「くすり」と「人」を科学し，病いに苦しむ人々を救う

「くすり」は病気で苦しむ多くの人々を同時に助けることができます。そのためには，「くすり」と「人」に関する地道な基礎薬学・生命科学研究や発展的な応用研究，より臨床に近い医療薬学研究が必要不可欠です。先端的研究を通じて，「くすり」に関わる多様な人材を養成します。主導的な薬剤師や次世代の薬学教育・研究者の養成を主目的とした「薬学類」（6年制）と，先端的な創薬研究に携わる多様な人材の養成を主目的とした「創薬科学類」（4年制）を併置しています。
入試については，一般入試，AO入試（高大院接続入試）及び理系一括入試など特色ある異なった選抜を実施しています。特にAO入試（高大院接続入試）では，大学院医薬保健学総合研究科までの一貫した教育を受け，博士の学位を取得し，卓越した薬学教育・研究者や創薬研究者を志す方を対象としています。

保健学類

人間の誕生から死までを科学の目で捉え，自分，家族，友達，患者の健康な生活をサポートする

人間としての尊厳を維持し，健康で幸福な生活の実現に貢献することを目指す学問である保健学の基礎技術・知識を学び究めるとともに，人類の保健・医療・福祉の発展に寄与する「保健学のプロ」（卒業時に国家試験受験資格を取得）を育成します。
保健・医療・福祉の科学的知識と理論，技術の修得を通じて，医療制度の変化，高度先進医療の導入，健康観の変化・社会のニーズ，動向など多くの課題に応えられる高度な専門的人材を育成します。

大学院

人間社会環境研究科

人文学専攻（博士前期課程）

複合的領域に関する研究を主に行う5つの学際総合型プログラムと，人間科学，歴史学，言語・文学，文化資源学などの特定専門領域に関する研究を主に行う17の専門深化型プログラムがあり，学生は入学試験の際にこの中から一つを選択して履修します。取得できる学位は修士（文学）または修士（学術）です。

経済学専攻（博士前期課程）

経済理論・政策，国際社会・経済，経営情報の3コースがあり，学生はそのいずれかを選択して履修します。取得できる学位は，修士（経済学），修士（経営学）または修士（学術）です。

地域創造学専攻（博士前期課程）

地域創造学と教育支援開発学の2コースからなり，高度な地域創造力を備えた専門職業人の育成を目指し，課題型インターンシップなどを用意しています。両コースとも取得できる学位は修士（地域創造学）または修士（学術）です。

国際学専攻（博士前期課程）

国際関係・地域研究と日本語教育・日本文化研究の2コースからなり，前者には授業がすべて英語で行われるInternational Studies Programもあります。両コースとも取得できる学位は修士（国際学）または修士（学術）です。

人間社会環境学専攻（博士後期課程）

人文学，法学・政治学，社会経済学の3コースで構成され，学生はそのいずれかに所属して履修します。取得できる学位は，博士（社会環境学），博士（文学），博士（法学），博士（政治学），博士（経済学）または博士（学術）です。

文化資源学プログラム

人間社会環境研究科に設置された特別プログラムで，人類の有形無形の多彩な文化遺産を未来社会に向けた人類共有の資源ととらえ，その有効な保存・継承・活用策を見いだし管理運営に携われるような専門家である「文化資源マネージャー」の養成を目指します。日本人学生と外国人学生とが一緒に学ぶ英語プログラムで，文化資源学研究の基礎となる考古学，美術史，文化人類学などの基礎と方法論を学んだ後，それぞれの課題と研究対象を設定して調査を行い，学位論文の執筆につなげます。

自然科学研究科

数物科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

広い理学研究の中にあって，基礎科学としての特質に重点を置きつつ，総合的な視点から数学・物理学・計算科学の教育研究を行っています。

物質化学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然界のさまざまな現象を物質の変化という観点からとらえ，自然と調和した豊かな社会を実現するために，化学が関係する広範な分野において，自ら課題を見出し，先導的研究を実施できる高度な人材（研究者・技術者）の育成を行っています。

機械科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然と人間との調和を考慮した機械科学について，実践的でかつ幅広い教育研究（自然との適合，効率的な資源やエネルギーの利用，快適で安全，秩序ある社会の発展に貢献する教育研究）を行っています。

電子情報科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

高速・大容量かつ快適な高度情報ネットワーク社会の実現に向けて，革新的な技術開発を行っています。電気工学，電子工学，通信工学，情報工学の分野について国際水準の教育を系統的に行うとともに，これらの分野を連携強化した新しい技術を創成します。

環境デザイン学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然と調和した社会・環境基盤の創造を志向し，持続可能かつ安全で快適な国土づくり・都市づくりの要となる社会基盤を構築する責務を担うため，調査・研究，計画，設計・施工・維持管理，さらには廃棄物の処理・再生・更新・廃棄に渡る環境デザインの幅広い局面において必要とされる，高い専門性と学際性を備えた技術・工学について，教育研究を行っています。

自然システム学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然システム学専攻は，生物学，バイオ工学，化学工学および地球環境学が融合してできた，まさに理工の融合領域に挑戦する新たな専攻です。専攻の教育を通じて，自然科学の分野で，グローバル感覚，創造力，倫理観の高い研究者・技術者・教育者を育成しています。

医薬保健学総合研究科

医科学専攻（修士課程）

生命科学，基礎医学および臨床医学を体系的・集中的に学ぶとともに，指導教員の研究指導のもとで医学に関連する実験科学を学びます。医学分野での研究者並びに医療・産業分野の専門的な職業人として活躍しうる医学的資質を身に付けた人材を養成することを目的とし，医学科以外の文系・理系を問わない多様な学問的背景を持つ方を受け入れています。

医学専攻（医学博士課程）

医学専攻は，これまでの脳医科学，がん医科学，循環医科学，環境医科学の4専攻の実績をもとに，疾病に対する医学と医療（治療）を主眼として，専攻の垣根を取り払い，基礎・臨床の融合的・発展的な教育研究を一層推進するため，4専攻を1つの専攻に統合して作られました。幅広い分野における医学的知見を持ち，疾病機構や病態の解明に必要な能力と，その基盤となる学識を身につけ，疾病に罹患した患者に対し，その疾病の迅速かつ的確な診断や，患者本人に負担の少ない効果的かつ良質な治療を開発できる，あるいは提供できる者を養成します。

創薬科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

博士前期課程では，創薬科学分野の基礎から応用に至る幅広い知識と研究能力を兼ね備え，国際的視野を有する人材の養成を目的とします。医薬品をはじめとする種々の生理活性物質を化学的，物理学的又は生物学的側面からとらえた教育・基礎研究を通して，創薬を含む生命科学全般に貢献できる優れた人材を養成します。
博士後期課程では，薬学を中核に据えた学問分野に関する最先端の知識や技能と高い研究能力の醸成を目的とします。創薬科学における先進的かつ発展的な教育・研究を通して，豊かな創造力，高い見識，卓越した研究企画能力，強いリーダーシップ，さらに国際的視野で活躍できる能力を備えた，自立した真の研究者を養成します。

薬学専攻（博士課程）

薬学を中核に据えた学問分野における最先端の知識，医療人としての実践的な研究能力，および高い倫理観と国際的視野の醸成を目的とします。薬学・医学・保健学という三つの医療系学問分野が横断的に連携した本研究科に特有の学際的環境の中で，基礎薬学から医療薬学にわたる幅広い分野での教育を通して，高度な専門性を有する薬学教育・研究のリーダー，自然科学の素養と学術的に優れた研究能力を兼ね備えた医療人を養成します。

保健学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

看護科学，医療科学，リハビリテーション科学の基盤的研究を究めるとともに，保健学の総合的研究および学際的研究を推進し，21世紀の保健学を先導する知の創成と新しい学問領域の形成を行います。
保健・医療・福祉の高度専門化の社会的ニーズに対応するため，博士前期課程では，豊かで幅広い学識と高度な問題解決型思考能力を有する指導的高度専門職業人を，また，博士後期課程では，高度な研究能力を持つ国際的研究者・教育者を育成し，保健学の発展と人類の健康と福祉の向上に寄与します。

先進予防医学研究科

先進予防医学共同専攻

先進予防医学共同専攻は，金沢大学大学院先進予防医学研究科と千葉大学大学院医学薬学府，長崎大学大学院医歯薬学総合研究科がそれぞれの強みを組み合わせ，共同で同一のカリキュラムにより教育を行う，4年制の医学博士課程の共同大学院です。
従来の衛生学・公衆衛生学分野を基盤とし，新たな方法論として，オミクス情報からマクロ環境情報まで個人や環境の特性を網羅的に分析・評価し，教育研究分野や医療分野等で，0次予防から3次予防までを包括した「個別化予防」を実践できる人材の養成を目的としています。

融合科学共同専攻（博士前期課程・博士後期課程）

「融合科学の促進」を教育理念としており，現代社会の課題を，異分野融合による科学技術イノベーションにより解決する人材の育成を目的としています。北陸先端科学技術大学院大学と共同で同一のカリキュラムを編成する共同専攻であり，両大学の教員の専門分野は人文科学，理学，工学，情報科学，医学，薬学，保健学と多岐にわたります。異なる専門分野の基礎的科目履修や異分野体験ラボローテーションなどの特徴的な教育プログラムにより，さまざまな観点から融合科学に挑戦し，社会実装に応用できるよう指導を行います。

ナノ生命科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

金沢大学が有する世界最先端の走査型プローブ顕微鏡（SPM）技術を用い，ナノレベルでのオルガネラ，生体膜，タンパク質，DNA等の動態計測及び動的挙動制御を生命・物質科学分野に展開し，「未踏ナノ領域」を切り拓く博士人材を養成することを目的として，令和2年4月に設置しました。ナノ生命科学研究所（NanoLSI）の研究実績を基盤とし，“高性能SPM等の革新的ナノ動態計測技術の研究開発に取り組む人材”と，“最先端の動態計測技術をナノレベルの生命現象の解明に向けた研究に展開する人材”を養成します。

ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム（卓越大学院プログラム）

本学大学院自然科学研究科，医薬保健学総合研究科，先進予防医学研究科及び新学術創成研究科の４研究科にまたがる5年一貫型博士前期・博士後期（又は４年制博士課程）の学位プログラムで，令和元年度，文部科学省「卓越大学院プログラム」に採択され，令和2年4月から開設しました。本学の強みである世界トップレベル研究拠点「ナノ生命科学研究所（NanoLSI）」の卓越した研究環境の下，民間企業も参画の上，人類社会の課題である「がん，生活習慣病，脳神経病，微小粒子・ナノ材料による疾患」を対象に，技術に強いナノ精密医学・医学に強いナノ精密理工学のプロフェッショナルを養成します。

法学研究科

法学・政治学専攻（修士課程）

研究コースと高度専門職コースの2コースがあり，法学や政治学を専門とする研究者の養成を行う研究コースは，基礎法学，公法学・社会法学，民事法学，政治学の4つのプログラムから構成されます。高度専門職コースは，法や政治に関する専門知識を生かした職業人の養成を行います。両コースとも取得できる学位は修士（法学）または修士（政治学）です。

法務専攻（専門職学位課程）

2004年に設立された法曹養成のための専門職大学院です。標準コース（修業年限3年）と短縮コース（同2年）があります。
種々の法的紛争を適切かつ迅速に解決でき，紛争予防のための調整能力も備えた法律家を養成します。少人数教育と反復的学習によって法律の基本を学んだ後，弁護士のもとで実務を体験させ，その経験を生かす循環型学習を実施し，知識だけでなく社会や個人に対する深い洞察力を養います。修了者には法務博士（専門職）の学位が授与され，司法試験の受験資格が与えられます。司法試験合格者の多くは，北陸三県を中心に弁護士として活躍しています。

教職実践研究科

教職実践高度化専攻（専門職学位課程）

2016年4月に発足した，高度な実践力を備えた教員を養成するための専門職大学院です。
新たな学びをデザインし実践できる授業力に優れた教員を育成する「学習デザインコース」と，学校の組織運営に優れた指導力を発揮できる中核教員を育成する「学校マネジメントコース」があります。
現職教員と学士課程卒の教員志望者が共同して学ぶと同時に，研究者教員と実務家教員がすべての授業や研究指導において共同で担当し，多様な視点から学習・研究を推進します。また，県教育委員会などと連携し，1年間に及ぶ学校実習など，理論と実践を往還させながら，教育課題に的確・創造的に対処する力を備えた教員を養成します。

新学術創成研究科

大学院

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科金沢校（こころの相互認知科学講座）

子どものこころと脳の発達およびその障がいに関する高度な知識・技能を修得することを目的とした博士課程（後期３年）です。子どものこころの課題の解決に取り組むさまざまな専門職の人たちを連携・統合できる高度な指導者，研究者を養成することが目標です。金沢校では，社会認識，コミュニケーションの発達の本質を探るため，分子生物学，脳画像解析学，精神医学，社会心理学を融合した教育と研究に取り組んでいます。

国際基幹教育院

国際基幹教育院

基幹教育を強固に推進し，本学の教育全体の高度化と国際化を牽引する

国際基幹教育院は，3研究域の協力の下に2016年4月に設置されました。世界で活躍する「金沢大学ブランド」人材育成のための本学独自の教育方針である金沢大学〈グローバル〉スタンダード（Kanazawa University “Global” Standard：KUGS）に基づき，学士課程から大学院課程における教育の基盤をなす教養的教育（基幹教育）を強固に推進することにより，本学の教育全体の高度化と国際化を牽引します。

本院は，GS教育部門，外国語教育部門，国際教育部門，リメディアル・基礎科目教育部門，高等教育開発・支援部門の5つの部門が相互に連携・協力して「導入科目」，「GS科目」，「GS言語科目」，「初習言語科目」，「基礎科目」，および「自由履修科目」を開講し，導入教育や基盤教育などの幅広い教育内容を含む共通教育を実施します。

また，平成30年度から導入した「文系後期一括・理系後期一括」入試で入学した学生は，1年次に国際基幹教育院総合教育部に所属します。総合教育部では，学生が2年次に学類へ移行するにあたり，本人の希望，学業成績等を考慮の上，一人ひとりが適切な進路選択を行えるよう，様々な支援体制を整えています。

別科

養護教諭特別別科

実践的な演習で養護教諭を養成

文部科学大臣より指定された養護教諭の養成機関です。看護師免許取得または取得見込の者を対象とし，取得した看護師の免許科目を基盤に，養護教諭1種免許状取得を目指す1年制の課程です。免許取得に必要な科目「養護に関する科目」では，模擬保健室を活用した教育現場に直結させた実践的な演習を，「教職に関する科目」では，教育の本質に関する講義とともに，附属学校等での養護実習を重視しています。附属学校，協力校における健康診断演習，保健室ボランティア活動などの実践を充実させ，学内の専任教員と学外の養護教育に携わる専門家により養護教諭を育成しています。

研究域附属研究センター

〈人間社会研究域〉地域政策研究センター

地域の発展・再生のための政策研究を推進する

現代のグローバル経済の下，地域の経済社会が困難に直面している諸課題に対し，地方自治体や企業，地域の諸団体，大学内外の諸機関と連携しながら，人文・社会科学の専門性を活かして解決策を提示します。地域再生の道筋に向けた政策科学を確立するために，各種研究プログラムや共同研究体制を組織しています。人口の減少・過疎化によって生活条件が困難に陥っている地域における社会システムの再構築や，地域資源を活かした新たな事業創出のマネジメントを研究しています。

国際文化資源学研究センター

世界各地の「文化資源」を保護・活用

経済開発やグローバリゼーションの進展で世界各地において有形・無形の文化遺産が，消滅の危機に瀕しています。この文化遺産を，新たな価値を創造するための「文化資源」ととらえなおし，総合的・多角的な研究と，保護・活用法の開発を行っています。形態文化資源，伝承文化資源，文化資源情報の3部門があり，それぞれ，有形文化資源に関する調査・研究，無形文化資源に関する調査・研究，文化資源情報の収集・社会還元を使命としています。研究のフィールドは，ヨルダン，グアテマラ，ホンジュラス，インド，中国など多岐にわたり，海外の研究機関と共同で事業を行う国際共同研究プロジェクトも積極的に展開しています。

〈理工研究域〉先端宇宙理工学研究センター（ARC-SAT）

金沢大学発の人工衛星で宇宙を理解する

本センターは，本学がこれまでに展開してきた宇宙理工学研究の経験を基に，「人工衛星や宇宙探査機を用いた科学」の発展的な研究を行うことを目的に，2019年7月に本学理工研究域の附属研究センターとして設置されました。先端機器開発部門，天文学・宇宙物理学部門，太陽地球系科学部門の3つの研究部門から構成されており，先端的な観測技術の開発とそれを用いた科学観測により，太陽地球系から遠方宇宙までを包括的に理解するための研究拠点形成を目指しています。また，宇宙理工学分野の人材育成に資するために金沢大学衛星プロジェクトを推進しており，学生が主体となる手作り超小型衛星（科学衛星）を開発しています。

附属施設・学内共同教育研究施設等

グローバル人材育成推進機構（O-GHRD）

本学の教育・研究・国際戦略を踏まえ，グローバルに活躍できる人材を育成するため，全学を挙げた人材育成プログラムの構築を図ることを目的に，学長直轄のグローバル人材育成推進機構を設置しました。本機構には，「次世代人材層形成強化プラットフォーム」を置き，グローバル人材の育成に資する人材育成プログラムを実施しています。

新学術創成研究機構（InFiniti）

本学に優位性のある研究のさらなる強化，学問分野融合型研究の一層の進展および国際頭脳循環の継続的拡充を一体的に推し進めることにより，革新的な研究成果を生み出し，新しい学問分野・学問領域の創成につなげることを目的とし，2015年4月に設置されました。また，その研究成果を基盤に教育を支援し，学際性・総合性・国際性を有する若手研究者の育成を促進していきます。本機構は，研究部門，高等教育部門，研究支援部門の3部門で構成されています。本機構の中心となる研究部門には，がん進展制御研究コア，革新的統合バイオ研究コア，未来社会創造研究コアの3つの研究コアに研究課題ごとの研究ユニットを配置し，学際的な研究を推進しています。

先端科学・社会共創推進機構（FSSI）

本学の基礎研究から応用研究に至る全領域の研究支援と，産学官連携により得られる研究成果の社会還元促進を目的としています。総合マネジメント部門と関連施設で構成され，本学の社会共創の核となるさまざまなプロジェクトの推進を支援します。

国際機構

国際機構は2012年4月，本学における国際化に関する事業を統括し，本学の国際化を推進することを目的に設置されました。機構は2部門・1センターで構成されており,「国際連携部門」では, 国際連携戦略の策定及び国際交流の充実並びに国際研究交流支援及び国際協力に関する業務を,「国際教育部門」では, 外国人留学生，外国人研究者及び海外研修や海外留学を希望する学生に対する支援並びに外国人留学生に対する各種教育，研修プログラム等の提供を行っています。また,「スーパーグローバルELPセンター」では, 本学の教員，事務職員，学生等のそれぞれに適した「英語研修プログラム（ELP：English Language Programs)」を企画・開発するとともに，定常的に実施するなど，本学の全ての構成員の英語力強化に寄与しています。

附属病院

江戸時代の加賀藩種痘所開設（1862年）から始まり，今日では北陸全体の“医療の要”として常に最先端の医療を実践しています。各臓器別・疾患別に36科の専門診療科，ベッド数838床を備えた地域の中核的医療機関であり，特定機能病院に指定されています。また，都道府県がん診療連携拠点病院としても，地域医療機関と協力してより良いがん医療を提供しています。教育面では，石川県と連携し設置した「金大病院CPDセンター」において県内における医療人の育成，専門職能力開発，生涯学習の充実および医療レベルの向上を図っており，医療関係者同士の知的交流の場となっています。研究面では,「先端医療開発センター」の設置により，臨床研究や橋渡し研究を積極的に推進しています。さらに,「中部先端医療開発円環コンソーシアム」への参加により，中部地区の大学と協働し新たな医療技術や医療機器の開発事業を行っています。

「最高の医療を提供するとともに，人間性ゆたかな優れた医療人の育成に努めます」を基本理念とし，患者さんが満足できる医療の提供，将来を担う医師，看護師およびメディカルスタッフの育成を目指します。

がん進展制御研究所（CRI）

がん進展制御研究所は，1967年「がんに関する学理及びその応用の研究」を目的に設置されました。創立以来，国立大学附置研究所の中でも唯一の「がん研究」に特化した研究所として，がんの基礎研究と研究成果の積極的な臨床応用を目指して研究を展開しています。特に,「がんの悪性化進展機構」に焦点をあてた研究を推進することにより，新しい診断・治療法の開発や臨床応用を通して，がんの克服による長寿健康社会実現に寄与することを目指しています。

本研究所では，ゲノム情報をもとに，さらに新しい切り口によるがん研究の推進が重要であると考え,「がん幹細胞」,「がん微小環境」,「分子治療標的」に集中して研究を進めてきました。さらに，全国規模の共同研究および国際共同研究の推進を目的に，2015年に「先進がんモデル共同研究センター」を設置しました。本体制で得られた成果を新たな研究資源とし，がんの転移・薬剤耐性の本態解明へ向けた取り組みを加速化させ，革新的な基礎研究成果を蓄積してわが国のがん研究者コミュニティの学術研究を深化させるべく研究を進展させています。そして，基礎研究から産み出されたシーズを用いた創薬研究や臨床研究（治験）等のトランスレーショナルリサーチを推進することにより，革新的ながん治療を開発し，社会に貢献することを目指します。

また，文部科学省より「がんの転移と薬剤耐性に関する先導的共同研究拠点」としての認定を受け，積極的に他施設の研究者とのネットワークづくりを進めています。毎年, 先進的な共同研究を推進し, 数々の研究成果を発表しています。この共同研究は，国内に留まらず，海外の研究者や著名な研究所との機関同士の交流による国際化を図っています。

附属施設・学内共同教育研究施設等

ナノ生命科学研究所（WPI-NanoLSI）

本学の構想が2017年度文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI)」に採択されたことを受け，同年10月に設立されました。本研究所では，本学に優位性のある研究領域を核とした世界的な研究拠点形成を目指す「超然プロジェクト」で培った研究成果やネットワークを基盤とし，本研究所の強みである最先端の走査型プローブ顕微鏡技術を核として，ナノ計測学，生命科学，超分子化学，数理計算科学の4つの分野を融合・発展させます。2020年9月には，角間キャンパス南地区に異分野の研究者が一つの建物に集結するアンダーワンルーフ型の新しい研究棟が完成する予定です。オープンな環境で分野の枠を超えた研究のさらなる加速が期待されます。そして近い将来，生きた細胞の内部や表層で生体分子の動態を直接観察，分析，操作することができる，世界初のナノプローブ技術を創出し，生命の誕生や老化，あるいはがん等の疾患など，未だその実態が解明されていない生命現象の仕組みを根本的に理解し，解明する計画です。本研究所は，これらの取り組みによって生命科学分野に飛躍的な進展をもたらし，新たな学問領域「ナノプローブ生命科学」を創成することを目指します。

ナノマテリアル研究所（NanoMaRi）

新学術創成研究機構における融合研究推進の顕著な成果であるナノサイエンス分野をさらに加速・発展させるため，2018年8月に設置されました。本研究所では，本学が優位性を持つ超分子化学，材料科学，ナノ計測学，数理計算科学などの技術・研究を集約するとともに,「フォーミュレーション・エンジニアリング」の手法を導入し，イノベーションを先導する新たな機能性材料開発とその実用化を強力に推進します。本研究所には，新規材料開発グループ，創エネデバイス開発グループ，省エネデバイス開発グループ，ナノ計測グループ，理論・計算科学グループの5つの研究グループを配置し，国立研究開発法人，企業，海外研究機関と連携した統合的なアプローチで，暮らしや産業に役立つ次世代の材料・デバイスの開発を目指します。

設計製造技術研究所（AMTI）

「第4次産業革命」と称される近年の急速な技術革新の世界的な潮流においては，産官学の総力を結集したモノづくりの高度化が目指され，その一つの到達点として,「オンデマンドモノづくり」を実現するスマート設計生産システムの構築が挙げられます。その開発拠点として2016年10月に発足した先端製造技術開発推進センターを発展的に改組し，2019年6月に新たな研究拠点として設計製造技術研究所（AMTI）が設立されました。本研究所は，機械学習・最適化部門とデジタルツイン部門からなる設計技術領域と，金属AM（Additive Manufacturing）技術開発部門，材料・構造開発部門，複合製造技術開発部門からなる製造技術領域から構成され，斬新な発想を具現化するための設計を支える製造法といった次世代の設計生産技術を開発することを目的としています。

附属図書館

中央図書館，自然科学系図書館，医学図書館から構成され，合わせて年間約69万人の入館者と，12万冊の館外貸出があります。蔵書数は192万冊にのぼり，本学の前身校から引き継いだ歴史的資料や貴重な書籍・資料もそろっています。学生の学習ニーズに合わせ，館内にはラーニングコモンズやアメニティゾーンを設置し，ラーニング・アドバイザーや留学生ラーニング・コンシェルジュなどによる人的学習支援も行っています。また，国内外の図書館と協力して図書館ネットワークを形成し，来館の利用者（北陸3県在住者）に館内資料の直接貸出を行うほか，公共図書館を窓口とした貸出の申込受付など，社会人や地域の方にも積極的に学習の機会を提供しています。

資料館

1989年に，本学および前身校に関係する歴史的文書・資料を収集・整理・保存し，閲覧・公開等の利用に供することを目的に設立されました。文化史・自然史・科学技術史にわたる「学術標本」および「大学史料」を収蔵しています。年1回の特別展のほか，企画展・アウトリーチ展などを開催しています。博物館学系授業にも積極的に協力し，学生の実習施設としての役割を果たしています。なお，文部科学大臣から博物館相当施設の指定を受けています。

総合メディア基盤センター

本学の情報ネットワークの拠点として，情報教育部門，学術情報部門，情報基盤部門および業務管理室から構成されます。学内の基幹ネットワーク（KAINS: 金沢大学学術統合ネットワークシステム）や本学のポータルサイト（アカンサスポータル）の新規開発・維持管理，マルチメディア教育施設や学術情報データベースなどの提供，パソコン相談カウンター業務を行っています。

環日本海域環境研究センター

環日本海域から東アジアにおける自然現象と人間活動により生ずる種々の環境問題の解決を目指し設立。研究の焦点を環日本海域の環境問題の解決に合わせるために，2015年4月から研究部門を4つの領域：大気環境領域，海洋環境領域，陸域環境領域および統合環境領域に改組しました。
2016年4月には，文部科学省共同利用・共同研究拠点に「越境汚染に伴う環境変動に関する国際共同研究拠点」として認定され，能登半島地域の実験フィールドと国際共同観測ネットワークを広く学内外に開放し，大気—海洋—陸域を統合した越境汚染物質の動態解析モデルの確立，および，ヒトの健康・生態系への影響評価と将来予測について共同調査・共同研究を展開しています。
研究のさらなる進展や，共同利用・共同研究に資するよう，能登大気観測スーパーサイト，臨海実験施設，低レベル放射能実験施設，尾小屋地下測定室，植物園を実験・研究に係る共同利用施設として有しています。

学際科学実験センター

医学・自然科学系の研究支援・促進を担う遺伝子改変動物分野，ゲノム機能解析分野，トレーサー情報解析分野，機器分析分野の4研究分野から構成されており，学内共同教育研究施設として実験動物研究施設，遺伝子研究施設，アイソトープ総合研究施設，アイソトープ理工系研究施設，機器分析研究施設の5研究施設を有しています。遺伝子組換え技術や放射性同位元素，遺伝子改変動物などの実験動物および最先端大型分析機器等の使用を伴う教育研究とその安全管理を行うことにより，医薬学，理工学分野の先端的，学際的研究の推進を図ります。

附属施設・学内共同教育研究施設等

子どものこころの発達研究センター

子どものこころと脳の発達およびその障がいに関する高度な知識・技能を修得し，課題解決能力を備えた専門家の養成に努めています。基礎研究から医療・支援までのさまざまなバックグラウンドを持つ研究者，臨床家が集い，各自の専門性を活かしながらチーム一丸となって，子どものこころの課題解決に挑戦しています。

先進予防医学研究センター

教育および研究の両面において，個人や環境の特性を網羅的に分析・評価し，0次予防から3次予防までを包括した「個別化予防」を実践するための研究面を推進するため，先進予防医学研究センターを設置しました。
本学だけでなく，千葉大学，長崎大学にそれぞれ先進予防医学研究センターを設置し，3大学での共同研究や地域住民のコホート研究などを行っています。

環境保全センター

本学における環境分野での研究，教育の推進を図るとともに，大学の化学物質管理システムの管理運営を行い，また，大学の研究，教育，医療活動等に伴い発生する各種の廃棄物などに含まれる重金属や有機溶媒などの収集および委託処理を行っています。

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

男女共同参画のための，研究環境・制度の整備および啓発・広報活動を行っています。女性が積極的に研究を継続し，成果を挙げて実力を発揮できるようにするとともに，次世代女性研究者を魅了するための取り組みを行い，真の男女共同参画社会の実現を目指します。
さらに，本学が構築した北陸地域における女性研究者ネットワーク「Hokuriku Women Researchers' Network（HWRN／ホウルネット）」を通じて，本学の取り組みを普及させるとともに，富山県立大学およびＹＫＫ株式会社と連携して科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択された女性研究者・技術者支援プログラムにより，産学が連携した北陸ダイバーシティ研究環境の実現，女性人材育成の好循環形成に取り組んでいます。

高大接続コア・センター

本センターは，将来，国際社会で先頭に立って活躍するために必要な多様な潜在能力を有する人材の幅広い受け入れ・育成を目的として，平成30年7月に設置しました。金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）の理念に基づいた入学者選抜方法等の調査・開発を推進するとともに，高大接続プログラムの開発・実施・評価に加えて，国内外の大学の入試制度の動向調査・分析等も行っています。

保健管理センター

学生および教職員の健康サポートや健康教育を通して，心身の健康を向上させるためのサービスを提供しています。看護師や保健師が常駐し，保健指導や簡単な手当てをしています。医師による健康相談や公認心理師によるカウンセリングも受けることができます。
また，学生のウェルネス向上と成長を目指した学生支援プログラムを提供しています。安全衛生業務も担当しています。

極低温研究室

極低温研究室では液体ヘリウム，液体窒素を使用する共通実験室を備え，超低温での研究が進められています。また，磁化測定装置や比熱測定装置などが共同利用されています。ヘリウム液化機，液体窒素貯槽を備えており，学内の多くの部局に液体ヘリウム，液体窒素を供給するとともに，低温実験に必要な技術的な指導，サービスも行っています。高圧ガス保安法に基づく安全講習も毎年実施しています。

埋蔵文化財調査センター

本学構内の文化財を保護活用し，出土した資料等を教育および学術研究に資することを目的としています。センターの活動により，角間地区からは平安時代の寺院跡などが，宝町地区からは近世武家屋敷や寺院の遺構や遺物などが見つかっています。

技術支援センター

本学における技術教育および研究支援を行うとともに，地域社会に対する技術支援・技術啓発等の社会貢献を行うことを目的としたセンターです。汎用機から最先端のマシニングセンターまで数多くの工作機械を有し，これらを有効に活用することで，技術教育分野においては学生の工作実習や創成型科目におけるものづくり支援，研究支援分野においては実験装置の設計・製作や技術開発相談，社会貢献分野においてはものづくり教室等の活動を行っています。また，ISO14001（環境マネジメントシステム）に準じた環境にやさしいものづくりに対する取り組みにも力を注いでいます。

その他の施設等

金沢大学学生留学生宿舎「先魁」「北溟」

国際交流を推進し，グローバル人材の育成を目的とした日本人学生と外国人留学生が1つのユニット（男女別）で共同生活するシェアハウスタイプの宿舎です。

国際交流会館

外国人留学生と外国人研究者のための宿舎です。
78室の単身用居室と多目的室・ラウンジなどの共有スペースがあります。

金沢大学創立五十周年記念館「角間の里」

金沢大学創立五十周年記念事業の一つとして，2005年に白峰村の民家（山口新十朗家，築300年）を移築しました。自然環境に恵まれた角間キャンパスでの，教育，研究，地域連携などを目的とした行事に利用されています。

金沢大学東京事務所

本学の首都圏における学生の就職活動の拠点，教職員の活動拠点，各同窓会の連絡拠点や交流の場として利用されています。

辰口共同研修センター

能美市の自然豊かなフィールドにある合宿研修施設です。会議室，宿泊室，体育館などを備え，日帰りの利用も可能です。研究室の発表会や各種サークル活動での利用に加え，地域教育・研究の拠点としても活用されています。

金沢大学五箇山セミナーハウス「助市」

教育，研究，社会貢献活動の新たな拠点として，2016年4月に世界文化遺産である五箇山相倉合掌造り集落（富山県南砺市）に開所しました。合掌造り茅葺きの建物には，多目的スペースや和室のほか，シャワールームも完備されており，さまざまな活動に利用されています。

金沢大学サテライト・プラザ
金沢大学金沢駅前サテライト
金沢大学珠洲サテライト
金沢大学小松サテライト

学びと情報の発信拠点として，金沢市西町教育研修館内にサテライト・プラザを設置。公開講座・ミニ講演の開催のほか，授業やゼミに広く活用しています。金沢駅前にも拠点を新たに設置し，社会のニーズに対応した高付加価値学習事業を展開します。また，能登，加賀地区では，遠隔地配信システムを利用した学びの場および市民交流の場として，サテライト施設を活用しています。

能登学舎

能登における大学と地域の教育研究拠点。能登半島の先端に位置し，前方には海を臨み，後方には里山が広がります。地域をフィールドに，地域再生人材の育成や環境教育，エアロゾル研究などユニークな取り組みが行われています。

学友支援室

全学同窓会「金沢大学学友会」を中心に，卒業生と在学生・教職員の相互交流を通じて本学の発展と社会に貢献する全学同窓会ネットワークを構築するため，同窓会・卒業生の情報収集および大学の情報提供を行っています。

金沢大学基金

学生を応援し，教育研究活動を支え，地域貢献活動を支援する基金です。奨学金の充実や学生の修学環境整備をはじめ，海外への学生派遣支援および海外からの留学生受入支援，地域連携を深める活動への支援を行っています。

金沢大学データ

2020年5月1日現在

- **淵源：1862年　加賀藩彦三種痘所**
- **教職員数：2,842人**　役員10人，教育研究職員1,323人，事務職員448人，技術職員1,061人
- **予算：総額64,414百万円（2020）**
- **面積：約257万㎡**　角間キャンパス2,008,565㎡，宝町・鶴間キャンパス151,053㎡，その他409,611㎡
- **組織**

3学域・17学類等：
人間社会学域　人文学類，法学類，経済学類，学校教育学類，地域創造学類，国際学類
理工学域　数物科学類，物質化学類，機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類，地球社会基盤学類，生命理工学類
医薬保健学域　医学類，薬学類，創薬科学類，保健学類
国際基幹教育院総合教育部

7研究科：
人間社会環境研究科，自然科学研究科，医薬保健学総合研究科，先進予防医学研究科，新学術創成研究科，法学研究科，教職実践研究科

その他：
附属病院，附置研究所等（がん進展制御研究所，ナノ生命科学研究所，ナノマテリアル研究所，設計製造技術研究所）等

【教育】
- **学生数：10,146人**
  学士課程7,799人，大学院（修士・博士前期）1,259人，大学院（博士・博士後期）994人，大学院（専門職学位）58人，養護教諭特別別科36人
- **入学者数：1,781人**　北陸3県出身　約47％
- **卒業者数：1,778人　累計：94,841人**　学士課程卒業者の約30％が大学院等へ進学
- **修了者数：821人　累計：26,930人**
- **蔵書数：192万冊**　電子ジャーナル9,805タイトル

【研究】
- **学術論文数：11,148件**（2010.1-2020.2）
- **学術論文被引用数：147,323件**（2010.1-2020.2）
  国内大学18位，世界972位，薬学・毒性学分野 国内大学7位，神経科学・行動科学分野 国内大学10位
- **科研費：940件　2,169百万円**（2019実績）
- **外部資金：共同研究 324件 681百万円，受託研究 299件 2,156百万円，寄付金 2,578件 1,322百万円**（2019実績）
- **特許出願件数：61件**（2019実績）

【国際】
- **交流協定校数：283機関（46か国1地域）**
  大学間交流協定校200機関（41か国1地域），部局間交流協定校83機関（27か国1地域）
- **外国人留学生数：618人**
- **海外派遣学生数：615人**（2019実績）　※語学研修等を含む
- **外国人研究者等受入数：480人**（2019実績）
- **日本人研究者等海外派遣数：1,353人**（2019実績）

【医療】
- **病床数：838床**
- **外来患者数（1日平均）：1,607人**（2019実績）
- **入院患者数（1日平均）：703人**（2019実績）

【社会貢献】
- **自治体等との協定数：33件**
- **公開講座数：42講座**（2020）

【大学ランキング】
- **Quacquarelli Symonds Ltd.**
  QS Asia University Rankings 2020：国内 19位，アジア圏 129位
  QS World University Rankings 2020：世界 581-590位
- **Times Higher Education**
  Japan University Rankings 2020：国内 18位
  World University Rankings 2020：世界 801-1000位

役職員

令和2年5月1日現在

役員	
学長	山崎 光悦
理事（総括・大学改革・附属病院担当）・副学長	大竹 茂樹
理事（教育・高大接続担当）・副学長	青木 健一
理事（研究・社会共創担当）・副学長	和田 隆志
理事（企画評価・情報担当）・副学長	山岸 雅子
理事（総務・財務・施設担当）・副学長	大西 啓介
理事（産学連携・高等教育改革担当）	中沢 正隆
理事（産学連携・オープンイノベーション担当）	黒本 和憲
監事	村本 健一郎
監事	石原 多賀子
副学長	
副学長（国際（総括）担当）	志村 恵
副学長（国際担当）	田中 茂雄
副学長（附属病院改革担当）	蒲田 敏文
副学長（産学連携担当）	加納 重義
学長特別補佐	
学長特別補佐（研究支援担当）	中西 義信
学長補佐	
学長補佐（教育改革・学修支援担当）	片岡 邦重
学長補佐（大学間連携・角間里山担当）	佐川 哲也
学長補佐（入試・入試改革担当）	岩見 雅史
学長補佐（学生募集・高大接続担当）	山本 茂
学長補佐（入試・高大接続担当）	谷内 通
学長補佐（研究力強化・研究支援担当）	長谷川 浩
学長補佐(研究支援・研究力強化・社会共創推進担当)	米田 隆
学長補佐（社会共創推進担当）	坂本 二郎
学長補佐（社会共創推進担当）	佐無田 光
学長補佐（企画評価・教員人事改革担当）	児玉 昭雄
学長補佐（男女共同参画推進担当）	長谷部 徳子
学長補佐（ハラスメント防止担当）	吉川 一義
学長補佐（国際担当）	足立 英彦
学長補佐（国際担当）	山本 靖彦
学長補佐（国際担当）	島 竜一郎
教育研究評議会評議員	
学長	山崎 光悦
理事（総括・大学改革・附属病院担当）・副学長	大竹 茂樹
理事（教育・高大接続担当）・副学長	青木 健一
理事（研究・社会共創担当）・副学長	和田 隆志
理事（企画評価・情報担当）・副学長	山岸 雅子
融合研究域長	大竹 茂樹
人間社会研究域長	村井 淳志
理工研究域長	森本 章治
医薬保健研究域長	中村 裕之
人文学類長	三浦 要
法学類長	合田 篤子
経済学類長	寒河江 雅彦
学校教育学類長	守屋 哲治
地域創造学類長	佐川 哲也
国際学類長	古畑 徹
数物科学類長	大浦 学
物質化学類長	横山 明彦
機械工学類長	多田 幸生
フロンティア工学類長	瀬戸 章文
電子情報通信学類長	満保 雅浩

教育研究評議会評議員	
地球社会基盤学類長	桝谷 浩
生命理工学類長	佐藤 賢二
医学類長	杉山 和久
薬学類長	松永 司
創薬科学類長	加藤 将夫
保健学類長	宮地 利明
大学院人間社会環境研究科長	新田 哲夫
大学院自然科学研究科長	松本 宏一
大学院医薬保健学総合研究科長	堀 修
大学院先進予防医学研究科長	田嶋 敦
大学院新学術創成研究科長	飯山 宏一
大学院法学研究科長	尾島 茂樹
大学院教職実践研究科長	大谷 実
国際基幹教育院長	大竹 茂樹
附属病院長	蒲田 敏文
がん進展制御研究所長	平尾 敦
ナノマテリアル研究所長	水野 元博
附属図書館長	山岸 雅子
環日本海域環境研究センター長	長尾 誠也
新学術創成研究機構長	中村 慎一
経営協議会委員	
学長	山崎 光悦
理事（総括・大学改革・附属病院担当）・副学長	大竹 茂樹
理事（研究・社会共創担当）・副学長	和田 隆志
理事（総務・財務・施設担当）・副学長	大西 啓介
人間社会研究域長	村井 淳志
理工研究域長	森本 章治
医薬保健研究域長	中村 裕之
附属病院長	蒲田 敏文
神奈川大学特別招聘教授	上村 大輔
コマツ代表取締役会長	大橋 徹二
一般社団法人大学資産共同運用機構理事長	河田 悌一
愛知教育大学特別執行役	後藤 ひとみ
桜美林大学総合研究機構教授	小松 親次郎
石川県副知事	中西 吉明
ファイザー株式会社代表取締役社長	原田 明久
金沢市副市長	村山 卓
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センターフェロー	矢部 彰
ヤマトホールディングス株式会社取締役会長	山内 雅喜
人間社会学域	
学域長	村井 淳志
人文学類長	三浦 要
法学類長	合田 篤子
経済学類長	寒河江 雅彦
学校教育学類長	守屋 哲治
附属幼稚園長	鷲山 靖
附属小学校長	盛一 純平
附属中学校長	三戸 望
附属高等学校長	中澤 宏一
附属特別支援学校長	山本 仁
附属教育実践支援センター長	山本 卓
地域創造学類長	佐川 哲也
国際学類長	古畑 徹
理工学域	
学域長	森本 章治

理工学域	
数物科学類長	大浦 学
物質化学類長	横山 明彦
機械工学類長	多田 幸生
フロンティア工学類長	瀬戸 章文
電子情報通信学類長	満保 雅浩
地球社会基盤学類長	桝谷 浩
生命理工学類長	佐藤 賢二
医薬保健学域	
学域長	中村 裕之
医学類長	杉山 和久
薬学類長	松永 司
創薬科学類長	加藤 将夫
薬学類・創薬科学類附属薬用植物園長	松永 司
保健学類長	宮地 利明
大学院	
人間社会環境研究科長	新田 哲夫
自然科学研究科長	松本 宏一
医薬保健学総合研究科長	堀 修
先進予防医学研究科長	田嶋 敦
新学術創成研究科長	飯山 宏一
法学研究科長	尾島 茂樹
教職実践研究科長	大谷 実
融合研究域	
研究域長	大竹 茂樹
融合科学系長	尾島 恭子
人間社会研究域	
研究域長	村井 淳志
人間科学系長	中島 弘二
歴史言語文化学系長	入江 浩司
法学系長	石田 道彦
経済学経営学系長	佐藤 清和
学校教育系長	山本 英輔
附属地域政策研究センター長	佐無田 光
附属国際文化資源学研究センター長	中村 誠一
理工研究域	
研究域長	森本 章治
数物科学系長	大浦 学
物質化学系長	横山 明彦
機械工学系長	多田 幸生
フロンティア工学系長	瀬戸 章文
電子情報通信学系長	満保 雅浩
地球社会基盤学系長	桝谷 浩
生命理工学系長	佐藤 賢二
先端宇宙理工学研究センター長	八木谷 聡
医薬保健研究域	
研究域長	中村 裕之
医学系長	杉山 和久
薬学系長	松永 司
保健学系長	宮地 利明
国際基幹教育院	
教育院長	大竹 茂樹
GS教育系長	垣内 康孝
外国語教育系長	大藪 加奈
高等教育開発・支援系長	堀井 祐介

附属病院	
病院長	蒲田 敏文
がん進展制御研究所	
所長	平尾 敦
ナノ生命科学研究所	
所長	福間 剛士
ナノマテリアル研究所	
所長	水野 元博
設計製造技術研究所	
所長	細川 晃
附属図書館	
館長	山岸 雅子
医学系分館長	原田 憲一
学内共同教育研究施設	
総合メディア基盤センター長	笠原 禎也
環日本海域環境研究センター長	長尾 誠也
学際科学実験センター長	大黒 多希子
子どものこころの発達研究センター長	横山 茂
先進予防医学研究センター長	中村 裕之
環境保全センター長	池本 良子
保健管理センター	
センター長	竹村 博文
グローバル人材育成推進機構	
機構長	山崎 光悦
新学術創成研究機構	
機構長	中村 慎一
先端科学・社会共創推進機構	
機構長	和田 隆志
国際機構	
機構長	志村 恵
附属学校	
統括長	鷲山 靖
学内共同利用施設	
極低温研究室長	阿部 聡
資料館長	奥野 正幸
埋蔵文化財調査センター長	足立 拓朗
技術支援センター長	喜成 年泰
男女共同参画キャリアデザインラボラトリー	
ラボラトリー長	長谷部 徳子
高大接続コア・センター	
センター長	岩見 雅史
事務局	
事務局長	大西 啓介
総務部長	小野寺 昌勝
財務部長	西尾 修
施設部長	向井 和人
研究・社会共創推進部長	木下 正一
学務部長	西出 良一
国際部長	島 竜一郎
情報部長	久保 真一
人間社会系事務部長	米林 利晃
理工系事務部長	津島 浩司
医薬保健系事務部長	村田 靖
病院部長	大久保 進
総合技術部	
総合技術部長	長谷川 浩

職員数

単位：人
令和2年5月1日現在

区分		役員	教育研究職員 教授	准教授	講師	助教	助手	計	特任教員	教諭	事務職員	技術職員	合計
役員	男	8											8
	女	2											2
	計	10											10
融合研究域	男		2					2					2
	女		1					1					1
	計		3					3					3
人間社会研究域	男		90	53	12	4	1	160	9				169
	女		19	23	3	1	1	47	1				48
	計		109	76	15	5	2	207	10				217
理工研究域	男		92	75	7	49	1	224	3				227
	女		2	8		8		18					18
	計		94	83	7	57	1	242	3				245
医薬保健研究域	男		61	55	10	60		186	8				194
	女		15	12		35		62	2			1	65
	計		76	67	10	95		248	10			1	259
大学院医薬保健学総合研究科	男								14				14
	女								2				2
	計								16				16
大学院先進予防医学研究科	男								2				2
	女												
	計								2				2
国際基幹教育院	男		7	16	3	6		32	4				36
	女		6	7		5		18	2				20
	計		13	23	3	11		50	6				56
附属病院	男		3	9	31	67		110	53			153	316
	女			1	1	12		14	14			818	846
	計		3	10	32	79		124	67			971	1,162
がん進展制御研究所	男		10	5		18		33	3				36
	女		1	1		3		5	1				6
	計		11	6		21		38	4				42
ナノ生命科学研究所	男		9	8		3		20	26			1	47
	女		1			1		2	5			1	8
	計		10	8		4		22	31			2	55
ナノマテリアル研究所	男		3	3		2		8	4				12
	女								1				1
	計		3	3		2		8	5				13
設計製造技術研究所	男		6			2		8	1				9
	女												
	計		6			2		8	1				9
総合メディア基盤センター	男		3	2		3		8					8
	女												
	計		3	2		3		8					8
環日本海域環境研究センター	男		4	4		5		13					13
	女		1	1				2					2
	計		5	5		5		15					15
学際科学実験センター	男		1	5		4		10					10
	女		1					1					1
	計		2	5		4		11					11
子どものこころの発達研究センター	男		1			1		2	4				6
	女								3				3
	計		1			1		2	7				9
先進予防医学研究センター	男			2		1		3	2				5
	女												
	計			2		1		3	2				5
環境保全センター	男				1			1					1
	女												
	計				1			1					1
保健管理センター	男		1					1					1
	女			1		3		4	1			3	8
	計		1	1		3		5	1			3	9
新学術創成研究機構	男		6			8		14	4				18
	女		1			1		2	2				4
	計		7			9		16	6				22
先端科学・社会共創推進機構	男			2				2	7		1		10
	女			1				1	5				6
	計			3				3	12		1		16
国際機構	男		3	1				4	2				6
	女		2	2				4	3				7
	計		5	3				8	5				13
資料館	男								1				1
	女												
	計								1				1
男女共同参画キャリアデザインラボラトリー	男												
	女								1				1
	計								1				1
高大接続コア・センター	男								2				2
	女												
	計								2				2
附属学校	男									55			55
	女									54			54
	計									109			109
事務局	男										208	24	232
	女										239	9	248
	計										447	33	480
総合技術部	男											47	47
	女											4	4
	計											51	51
合計	男	8	302	240	64	233	2	841	149	55	209	225	1,487
	女	2	50	57	4	69	1	181	43	54	239	836	1,355
	計	10	352	297	68	302	3	1,022	192	109	448	1,061	2,842

■職種別年齢構成表

単位：人
令和2年5月1日現在

年度末年齢	役員	教育研究職員 教授	准教授	講師	助教	助手	計	特任教員	教諭	事務職員	技術職員	合計
21-30				1	9		10	4	11	73	461	559
31-40			47	11	149		207	82	45	96	281	711
41-50	1	70	159	40	122		391	65	37	179	211	884
51-60	1	188	79	15	19	2	303	16	15	93	107	535
61-70	6	94	12	1	3	1	111	23	1	7	1	149
71-80	2							2				4
合計	10	352	297	68	302	3	1,022	192	109	448	1,061	2,842
平均年齢	65.4	55.8	47.4	45.7	40.9	57.3	48.3	44.7	40.8	42.6	35.3	42.1

財務状況

令和元事業年度決算

■貸借対照表

令和2年3月31日
（単位：百万円）

科目	金額
■資産の部	
Ⅰ．固定資産	
1．有形固定資産	102,991
2．無形固定資産	283
3．投資その他の資産	2,356
固定資産合計	105,630
Ⅱ．流動資産	
現金および預金	10,102
未収入金	5,430
その他の流動資産	4,582
流動資産合計	20,114
資産合計	125,745

科目	金額
■負債の部	
Ⅰ．固定負債	33,082
Ⅱ．流動負債	16,015
負債合計	49,097
■純資産の部	
Ⅰ．資本金	58,641
Ⅱ．資本剰余金	8,110
Ⅲ．利益剰余金	9,896
純資産合計	76,647
負債純資産合計	125,745

■損益計算書

平成31年4月1日～令和２年3月31日
（単位：百万円）

科目	金額
経常費用	56,445
業務費	55,166
一般管理費	1,170
その他費用	109
経常収益	56,858
運営費交付金収益	15,281
学生納付金収益	6,075
附属病院収益	27,325
その他収益	8,177
経常利益	413
臨時損失	37
臨時利益	54
当期純利益	430
目的積立金取崩額	76
当期総利益	506

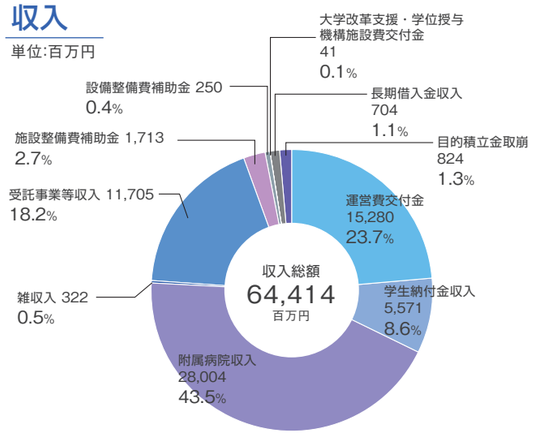
※百万円未満を四捨五入して記載しているため，合計が一致しない場合があります。
※文部科学大臣の承認を受けるまでは，金額等の変更が生じることがあります。

令和2年度予算

※グラフの「%（パーセント）」表記は，小数点第2位を四捨五入しているため，合計値が「100%」にならない場合があります。

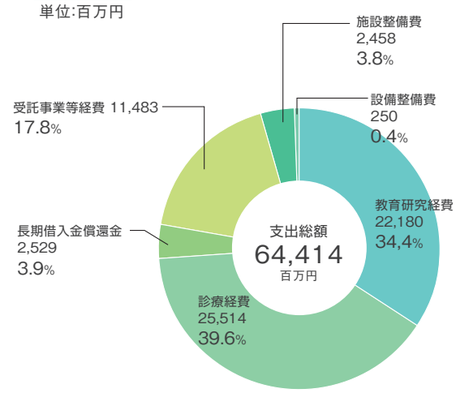
収入

単位:百万円



支出

単位:百万円



人件費の総額は，25,793 百万円であり，支出総額の 40% を占める。

学域・学類・研究科等

学士

学域・学類等		コース・専攻
人間社会学域	人文学類	
	法学類	公共法政策コース 企業関係法コース 総合法学コース
	経済学類	エコノミクスコース グローバル・マネジメントコース
	学校教育学類	教育科学コース 教科教育学コース
	地域創造学類	福祉マネジメントコース 環境共生コース 地域プランニングコース 観光学・文化継承コース
	国際学類	国際社会コース 日本・日本語教育コース アジアコース 米英コース ヨーロッパコース
理工学域	数物科学類	数学コース 物理学コース 計算科学コース
	物質化学類	化学コース 応用化学コース
	機械工学類	機械創造コース 機械数理コース エネルギー機械コース
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類	電気電子コース 情報通信コース
	地球社会基盤学類	地球惑星科学コース 土木防災コース 環境都市コース
	生命理工学類	生命システムコース 海洋生物資源コース バイオ工学コース
医薬保健学域	医学類	
	薬学類	
	創薬科学類	
	保健学類	看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻
総合教育部		

大学院

研究科・専攻		コース・領域等			
人間社会環境研究科 （博士前期課程）	人文学専攻	人間科学コース	歴史学コース	言語・文学コース	文化資源学コース
	経済学専攻	経済理論・政策コース	国際社会・経済コース	経営情報コース	
	地域創造学専攻	地域創造学コース	教育支援開発学コース		
	国際学専攻	国際関係・地域研究コース	日本語教育・日本文化研究コース		
人間社会環境研究科 （博士後期課程）	人間社会環境学専攻	人文学コース	法学・政治学コース	社会経済学コース	
自然科学研究科 （博士前期課程）	数物科学専攻	数学コース	物理学コース	計算科学コース	
	物質化学専攻	化学コース	応用化学コース		
	機械科学専攻	機能機械コース	環境・人間機械コース		
	電子情報科学専攻				
	環境デザイン学専攻				
	自然システム学専攻	生命システムコース	バイオ工学コース	化学工学コース	地球環境学コース
自然科学研究科 （博士後期課程）	数物科学専攻				
	物質化学専攻				
	機械科学専攻				
	電子情報科学専攻				
	環境デザイン学専攻				
	自然システム学専攻				
医薬保健学総合研究科 （修士課程）	医科学専攻				
医薬保健学総合研究科 （博士課程）	医学専攻	脳・神経医学領域 内科系医学領域	がん医学領域 外科系医学領域	循環医学領域 生殖・発達医学領域	社会環境医学領域
	薬学専攻	医薬科学			
医薬保健学総合研究科 （博士前期・後期課程）	創薬科学専攻				
	保健学専攻	臨床実践看護学 理学療法科学	健康発達看護学 作業療法科学	量子医療技術学	病態検査学
先進予防医学研究科 （博士課程）	先進予防医学共同専攻	生体システム領域	代謝領域	高次機能領域	微生物・環境領域
新学術創成研究科 （博士前期課程）	融合科学共同専攻				
	ナノ生命科学専攻				
新学術創成研究科 （博士後期課程）	融合科学共同専攻				
	ナノ生命科学専攻				
法学研究科 （修士課程）	法学・政治学専攻	研究コース	高度専門職コース		
法学研究科 （専門職学位課程）	法務専攻	標準コース	短縮コース		
教職実践研究科 （専門職学位課程）	教職実践高度化専攻	学習デザインコース	学校マネジメントコース		

学生数

単位：人
令和2年5月1日現在
※は従前の学類を示す。†はアドミッション・オフィス入試（AO入試）による入学者及び理系一括入試による入学者数のうち，２年次に配属になった者を示す。
（　）は女子学生数を内数で示す。＊は女子学生の比率を示す。

学士

学域等	学類等	入学定員	在籍者数 1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
人間社会学域	人文学類	145	135（ 79）	151（ 88）	148（ 93）	187（114）			621（374）
	法学類	170	158（ 58）	175（ 68）	187（ 84）	217（ 97）			737（307）
	経済学類	135	120（ 33）	141（ 40）	142（ 57）	222（ 76）			625（206）
	学校教育学類	100	102（ 54）	103（ 57）	101（ 61）	112（ 70）			418（242）
	地域創造学類	90	84（ 50）	96（ 59）	90（ 54）	96（ 46）			366（209）
	国際学類	85	82（ 60）	86（ 69）	87（ 64）	119（ 88）			374（281）
	計	725	681（334）	752（381）	755（413）	953（491）			3,141（1,619）＊51.5%
理工学域	数物科学類	84	81（ 13）	88（ 8）	88（ 11）	106（ 12）			363（ 44）
	物質化学類	81	79（ 19）	84（ 22）	82（ 28）	92（ 22）			337（ 91）
	機械工学類・フロンティア工学類・電子情報通信学類	290	259（ 7）						259（ 7）
	機械工学類	100		101（ 8）	109（ 3）				210（ 11）
	フロンティア工学類	110		111（ 12）	118（ 12）				229（ 24）
	電子情報通信学類	80		86（ 7）	87（ 8）				173（ 15）
	地球社会基盤学類	100	92（ 18）	94（ 20）	116（ 26）				302（ 64）
	生命理工学類	59	53（ 19）	60（ 15）	60（ 31）				173（ 65）
	機械工学類※					183（ 13）			183（ 13）
	電子情報学類※					150（ 12）			150（ 12）
	環境デザイン学類※					92（ 16）			92（ 16）
	自然システム学類※					120（ 32）			120（ 32）
	計	614	564（ 76）	624（ 92）	660（119）	743（107）			2,591（394）＊15.2%
医薬保健学域	医学類	112	111（ 24）	119（ 33）	122（ 26）	131（ 24）	110（25）	119（ 32）	712（164）
	薬学類・創薬科学類	75	78（ 42）	64（ 30）	75（ 33）				217（105）
	薬学類	35	3（ 2）†	5（ 3）†	1（ 1）†	36（ 27）	34（ 21）	36（ 26）	115（ 80）
	創薬科学類	40	2（ 1）†	3（ 0）†	5（ 1）†	38（ 11）			48（ 13）
	保健学類	200	198（148）	199（152）	212（150）	220（172）			829（622）
	計	387	392（217）	390（218）	415（211）	425（234）	144（ 46）	155（ 58）	1,921（984）＊51.2%
総合教育部	総合教育部（文系）	－	62（ 20）	1（ 0）					63（ 20）
	総合教育部（理系）	－	82（ 19）	1（ 0）					83（ 19）
	計	－	144（ 39）	2（ 0）					146（ 39）＊26.7%
合計		1,726	1,781（666）	1,768（691）	1,830（743）	2,121（832）	144（ 46）	155（ 58）	7,799（3,036）＊38.9%

単位：人
令和2年5月1日現在
※は従前の専攻を示す。（　）は女子学生数を内数で示す。＊は女子学生の比率を示す。

大学院　修士課程・博士（前期）課程

研究科	専攻名	入学定員	在籍者数 1年次	2年次	計
人間社会環境研究科	人文学専攻	23	14（ 10）	28（ 17）	42（ 27）
	経済学専攻	6	2（ 1）	12（ 8）	14（ 9）
	地域創造学専攻	14	13（ 11）	20（ 11）	33（ 22）
	国際学専攻	10	8（ 5）	14（ 9）	22（ 14）
	法学・政治学専攻※			5（ 1）	5（ 1）
	計	53	37（ 27）	79（ 46）	116（ 73）＊62.9％
自然科学研究科	数物科学専攻	56	48（ 1）	73（ 18）	121（ 19）
	物質化学専攻	57	62（ 20）	68（ 14）	130（ 34）
	機械科学専攻	90	108（ 4）	111（ 3）	219（ 7）
	電子情報科学専攻	67	73（ 2）	78（ 4）	151（ 6）
	環境デザイン学専攻	40	35（ 5）	59（ 10）	94（ 15）
	自然システム学専攻	67	65（ 20）	79（ 17）	144（ 37）
	計	377	391（ 52）	468（ 66）	859（118）＊13.7％
医薬保健学総合研究科	医科学専攻	15	11（ 8）	16（ 8）	27（ 16）
	創薬科学専攻	38	43（ 10）	40（ 19）	83（ 29）
	保健学専攻	70	67（ 27）	71（ 35）	138（ 62）
	計	123	121（ 45）	127（ 62）	248（107）＊43.1％
新学術創成研究科	融合科学共同専攻	14	12（ 3）	16（ 2）	28（ 5）
	ナノ生命科学専攻	6	8（ 1）		8（ 1）
	計	20	20（ 4）	16（ 2）	36（ 6）＊16.7％
法学研究科	法学・政治学専攻	8	0（ 0）		0（ 0）
	計	8	0（ 0）		0（ 0）＊－
合計		581	569（128）	690（176）	1,259（304）＊24.1％

大学院　博士（後期）課程

研究科	専攻名	入学定員	在籍者数 1年次	2年次	3年次	4年次	計
人間社会環境研究科	人間社会環境学専攻	12	11（ 7）	13（ 8）	44（ 28）		68（ 43）
	計	12	11（ 7）	13（ 8）	44（ 28）		68（ 43）＊63.2％
自然科学研究科	数物科学専攻	15	6（ 2）	9（ 2）	22（ 3）		37（ 7）
	物質化学専攻	14	2（ 0）	11（ 2）	10（ 2）		23（ 4）
	機械科学専攻	25	7（ 2）	14（ 0）	37（ 4）		58（ 6）
	電子情報科学専攻	18	4（ 0）	11（ 3）	30（ 4）		45（ 7）
	環境デザイン学専攻	10	6（ 3）	13（ 2）	25（ 7）		44（ 12）
	自然システム学専攻	21	4（ 1）	12（ 4）	25（ 12）		41（ 17）
	システム創成科学専攻※				1（ 0）		1（ 0）
	環境科学専攻※				2（ 0）		2（ 0）
	計	103	29（ 8）	70（ 13）	152（ 32）		251（ 53）＊21.1％
医薬保健学総合研究科	医学専攻	64	39（ 8）	75（ 14）	62（ 23）	112（ 43）	288（ 88）
	薬学専攻	4	4（ 3）	5（ 1）	1（ 0）	7（ 3）	17（ 7）
	創薬科学専攻	11	7（ 1）	14（ 4）	18（ 9）		39（ 14）
	保健学専攻	25	17（ 8）	35（ 15）	80（ 47）		132（ 70）
	脳医科学専攻※					19（ 5）	19（ 5）
	がん医科学専攻※					47（ 5）	47（ 5）
	循環医科学専攻※					27（ 7）	27（ 7）
	環境医科学専攻※					21（ 3）	21（ 3）
	計	104	67（ 20）	129（ 34）	161（ 79）	233（ 66）	590（199）＊33.7％
先進予防医学研究科	先進予防医学共同専攻	12	9（ 1）	15（ 5）	13（ 3）	23（ 5）	60（ 14）
	計	12	9（ 1）	15（ 5）	13（ 3）	23（ 5）	60（ 14）＊23.3％
新学術創成研究科	融合科学共同専攻	14	2（ 0）				2（ 0）
	ナノ生命科学専攻	6	6（ 3）				6（ 3）
	計	20	8（ 3）				8（ 3）＊37.5％
医学系研究科	脳医科学専攻※					2（ 1）	2（ 1）
	がん医科学専攻※					6（ 1）	6（ 1）
	循環医科学専攻※					6（ 0）	6（ 0）
	環境医科学専攻※					3（ 0）	3（ 0）
	計					17（ 2）	17（ 2）＊11.8％
合計		251	124（ 39）	227（ 60）	370（142）	273（ 73）	994（314）＊31.6％

大学院　専門職学位課程

研究科	専攻名	入学定員	在籍者数 1年次	2年次	3年次	計
法学研究科	法務専攻	15	12（ 5）	12（ 5）	6（ 2）	30（ 12）
	計	15	12（ 5）	12（ 5）	6（ 2）	30（ 12）＊40.0％
教職実践研究科	教職実践高度化専攻	15	13（ 8）	15（ 5）		28（ 13）
	計	15	13（ 8）	15（ 5）		28（ 13）＊46.4％
合計		30	25（ 13）	27（ 10）	6（ 2）	58（ 25）＊43.1％

別科

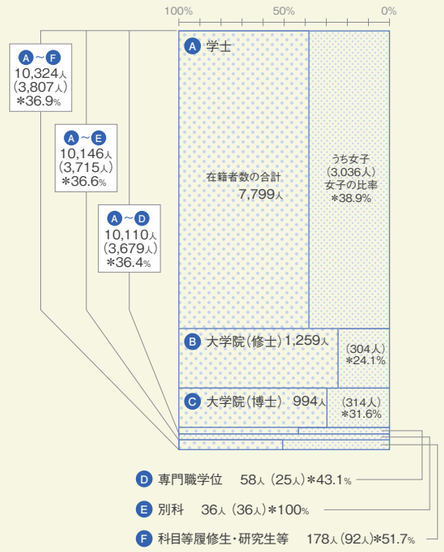
令和2年5月1日現在
※は従前の組織を示す。
（ ）は女子学生数を内数で示す。
＊は女子学生の比率を示す。

別科	入学定員	在籍者数
養護教諭特別別科（1年制）	人 40	人 36（ 36）
合計	40	36（ 36）＊100%

科目等履修生・研究生等

区分	在籍者数		
	科目等履修生	研究生等	計
学士	人 22（ 13）	人 21（ 12）	人 43（ 25）
大学院	10（ 1）	67（ 36）	77（ 37）
留学生教育部	0（ 0）	58（ 30）	58（ 30）
合計	32（ 14）	146（ 78）	178（ 92）＊51.7%

参考　金沢大学在籍者総数を表すグラフ



附属学校園

令和2年5月1日現在
（ ）は女子学生等数を内数で示す。
＊は女子学生等の比率を示す。

学校名		学級数	入学(園)定員	収容定員	在籍者数 1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
幼稚園	満3歳入園児保育	組 5	人 24	人 120	人 3歳児 24（13）	人 4歳児 28（13）	人 5歳児 48（27）	人	人	人	人 100（ 53）
	満4歳入園児保育		24								
小学校		18 (複式) 2	105 12	654 24	105（52）	102（51）	96（48） 12（ 9）	98（49） 12（ 6）	108（53）	109（53）	618（306） 24（ 15）
中学校		12	160	480	157（79）	159（79）	153（77）				469（235）
高等学校		9	120	360	123（63）	120（60）	118（61）				361（184）
特別支援学校	小学部	(複式) 3	3	18	3（ 2）	3（ 1）	3（ 0）	3（ 0）	3（ 1）	3（ 2）	18（ 6）
	中学部	3	6	18	7（ 5）	6（ 2）	4（ 1）				17（ 8）
	高等部	3	8	24	9（ 2）	8（ 1）	9（ 3）				26（ 6）
合計		55	462	1,698	428 (216)	426 (207)	443 (226)	113 (55)	111 (54)	112 (55)	1,633 (813) ＊49.8%

入学志願者および入学状況（学域等）

令和2年度

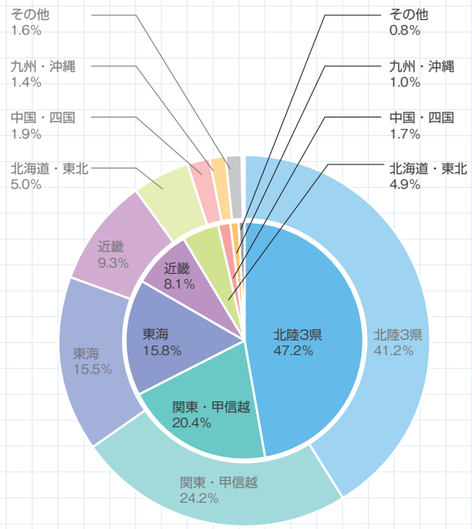
※グラフの「%（パーセント）」表記は，小数点第2位を四捨五入しているため，合計値が「100%」にならない場合があります。

全体	入学者 1,781人	入学志願者 5,241人

注）都道府県および出身地とは，出身高等学校等の所在地によるものとする。

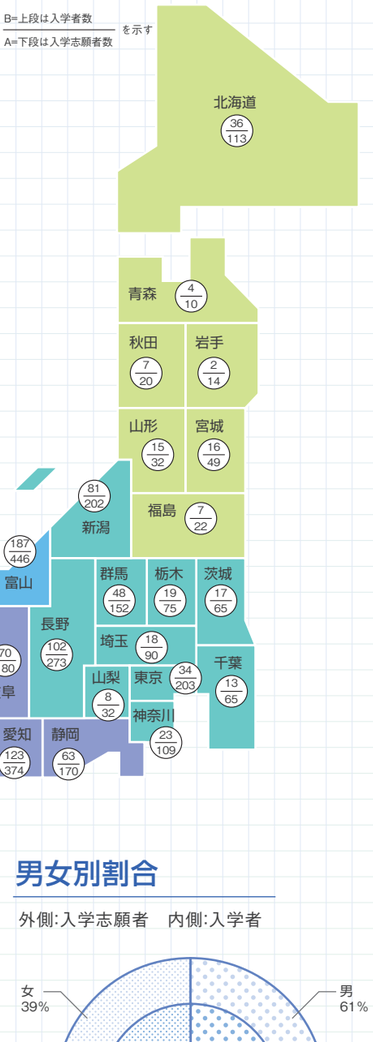
出身地別割合

外側:入学志願者　内側:入学者



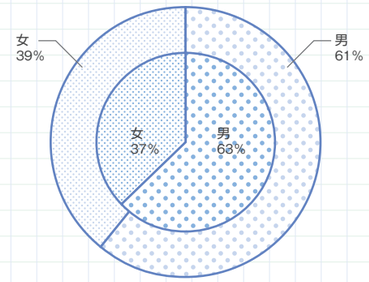
都道府県別数

B/A　B=上段は入学者数　A=下段は入学志願者数　を示す



男女別割合

外側:入学志願者　内側:入学者



高等学校卒業程度認定試験等合格者	3/24
外国の学校等	12/61
その他（専修学校の高等課程等）	0/1

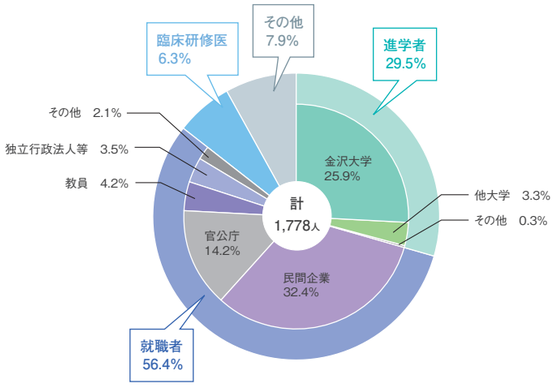
卒業者・修了者数（学位授与数）および進路状況

単位：人

令和2年5月1日現在

※グラフの「%（パーセント）」表記は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が「100%」にならない場合があります。

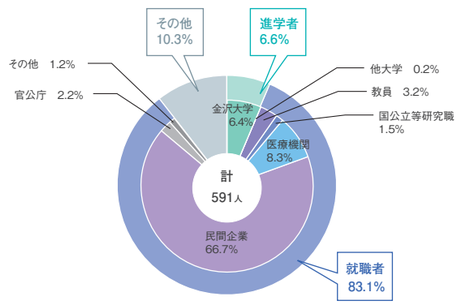
学士（学域・学部）



令和元年度卒業者・修了者の進路別内訳

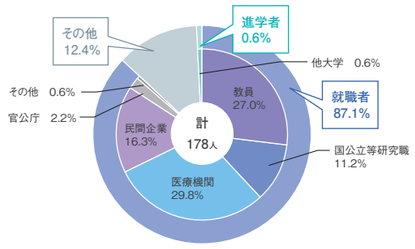
学域・学類／学部		累計（令和元年度を含む）	卒業者数（令和元年度）	進学者数 大学院 金沢大学	進学者数 大学院 他大学	進学者数 その他	進学者数 計	就職者数 民間	就職者数 官公庁	就職者数 教員	就職者数 独立行政法人等	就職者数 その他	就職者数 計	左欄（就職者）の地区別内訳 石川	富山・福井	関東	東海	近畿	その他	計	臨床研修医	その他
人間社会学域	人文学類	1,290	146	6	4	0	10	71	29	5	3	1	109	41	15	25	11	3	14	109	0	27
	法学類	1,513	168	5	4	0	9	49	79	1	3	6	138	38	21	27	27	8	17	138	0	21
	経済学類	1,596	164	0	2	0	2	96	38	0	1	2	137	40	22	39	19	8	9	137	0	25
	学校教育学類	928	106	2	3	0	5	20	5	60	2	3	90	34	32	8	2	7	7	90	0	11
	地域創造学類	694	88	2	0	0	2	53	26	0	0	3	82	21	15	12	8	8	18	82	0	4
	国際学類	628	82	3	1	1	5	54	4	3	1	7	69	15	7	22	9	2	14	69	0	8
理工学域	数物科学類	790	82	46	9	1	56	15	0	4	0	1	20	6	6	2	3	2	1	20	0	6
	物質化学類	787	85	62	5	0	67	9	4	2	0	2	17	6	4	4	1	0	2	17	0	1
	機械工学類	1,387	156	108	11	0	119	31	0	0	0	1	32	6	4	10	6	4	2	32	0	5
	電子情報学類	1,079	117	65	7	1	73	37	2	0	0	0	39	16	6	10	4	2	1	39	0	5
	環境デザイン学類	755	80	29	2	0	31	29	20	0	0	0	49	8	9	12	6	7	7	49	0	0
	自然システム学類	948	101	64	3	0	67	21	4	0	0	1	26	6	6	7	3	0	4	26	0	8
医薬保健学域	医学類	766	121	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	112	7
	薬学類	247	35	0	2	0	2	23	3	0	3	2	31	5	3	7	7	3	6	31	0	2
	創薬科学類	334	41	38	1	0	39	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1
	保健学類	1,899	206	30	3	3	36	67	37	0	49	8	161	60	19	21	25	21	15	161	0	9
学部	（文学部）	4,163																				
	（教育学部）	13,857																				
	（法学部）	5,620																				
	（経済学部）	5,450																				
	（理学部）	7,354																				
	（医学部（医学科））	5,949																				
	（医学部（保健学科））	2,646																				
	（薬学部）	4,003																				
	（工学部）	22,076																				
	（法文学部）	8,082																				
計		94,841	1,778	460	58	6	524	576	252	75	62	37	1,002	303	169	207	131	75	117	1,002	112	140

大学院　修士課程・博士（前期）課程



研究科	累計（令和元年度を含む）	修了者数（令和元年度）	進学者数 大学院 金沢大学	進学者数 大学院 他大学	進学者数 その他	進学者数 計	就職者数 教員 大学・短大	就職者数 教員 その他	就職者数 国公立等研究職	就職者数 医療機関 国公立等	就職者数 医療機関 民間	就職者数 民間企業 研究職	就職者数 民間企業 技術職	就職者数 民間企業 事務職等	就職者数 官公庁	就職者数 その他	就職者数 計	その他
人間社会環境研究科	627	45	6	1	0	7	1	3	0	0	0	0	5	11	4	1	25	13
自然科学研究科	9,640	415	16	0	0	16	1	11	8	0	2	10	317	8	5	4	366	33
医薬保健学総合研究科	763	118	14	0	0	14	3	0	1	22	23	11	19	4	4	2	89	15
新学術創成研究科	13	13	2	0	0	2	0	0	0	1	1	2	7	0	0	0	11	0
（教育学研究科）	1,241																	
（医学系研究科）	991																	
（文学研究科）	622																	
（法学研究科）	214																	
（経済学研究科）	166																	
（理学研究科）	1,677																	
（薬学研究科）	718																	
（工学研究科）	3,136																	
計	19,808	591	38	1	0	39	5	14	9	23	26	23	348	23	13	7	491	61

大学院　博士（後期）課程



研究科	課程修了者数（博士） 累計	課程修了者数（博士） 令和元年度	論文審査合格者数（博士） 累計	論文審査合格者数（博士） 令和元年度	進学者数 大学院 金沢大学	進学者数 大学院 他大学	進学者数 その他	進学者数 計	就職者数 教員 大学・短大	就職者数 教員 その他	就職者数 国公立等研究職	就職者数 医療機関 国公立等	就職者数 医療機関 民間	就職者数 民間企業 研究職	就職者数 民間企業 技術職	就職者数 民間企業 事務職等	就職者数 官公庁	就職者数 その他	就職者数 計	その他
人間社会環境研究科	101	11	17	1	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 3	(1) 0	(0) 2	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(1) 8	(1) 3
自然科学研究科	1,895	68	359	2	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(0) 1	(0) 20	(0) 4	(0) 11	(0) 0	(0) 0	(0) 4	(0) 11	(0) 4	(0) 2	(0) 1	(0) 57	(5) 10
医薬保健学総合研究科	368	87	61	12	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(2) 19	(0) 0	(0) 7	(1) 32	(0) 10	(0) 5	(0) 4	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(3) 78	(0) 9
先進予防医学研究科	3	3			(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 3	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 3	(0) 0
（医学系研究科）	2,630	9	1,674		(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 2	(0) 0	(0) 0	(2) 5	(0) 2	(0) 0	(1) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(3) 9	(1) 0
（社会環境科学研究科）	118		20																	
計	5,115	178	2,131	15	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(0) 1	(2) 44	(1) 4	(0) 20	(3) 41	(0) 12	(0) 9	(1) 16	(0) 4	(0) 4	(0) 1	(7) 155	(7) 22

※（　）は満期退学者数で外数

大学院　専門職学位課程

研究科	累計（令和元年度を含む）	修了者数（令和元年度）	進学者数 大学院 金沢大学	進学者数 大学院 他大学	進学者数 その他	進学者数 計	就職者数 教員 大学・短大	就職者数 教員 その他	就職者数 国公立等研究職	就職者数 医療機関 国公立等	就職者数 医療機関 民間	就職者数 民間企業 研究職	就職者数 民間企業 技術職	就職者数 民間企業 事務職等	就職者数 官公庁	就職者数 その他	就職者数 計	その他
法務研究科	258	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
教職実践研究科	46	16	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	1	1	16	0
計	304	21	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	1	1	16	5

専攻科・別科

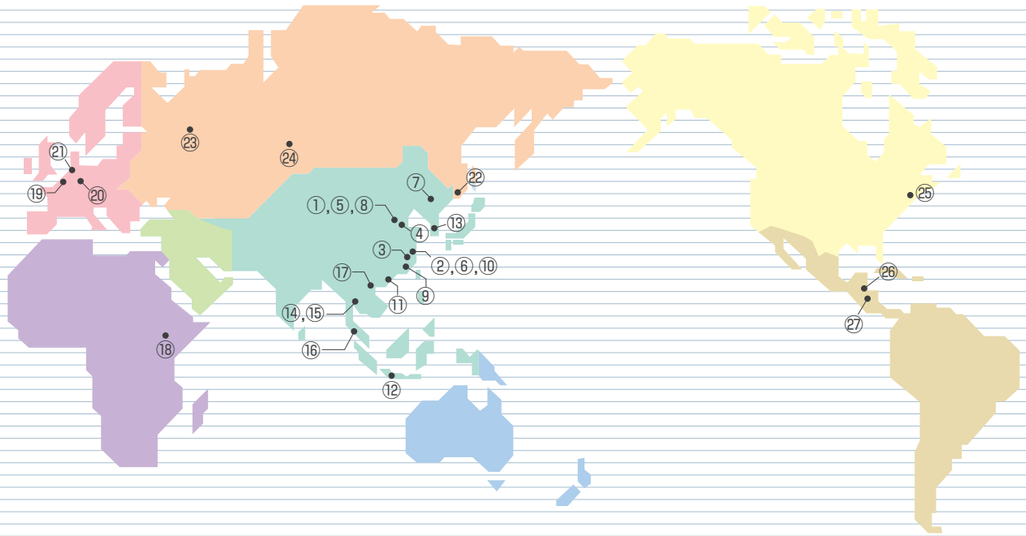
別科・専攻科	累計（令和元年度を含む）	修了者数（令和元年度）	進学者数	教員	医療施設職員	福祉施設職員	その他
養護教諭特別別科	1,458	31	0	20	6	1	4
（特殊教育特別専攻科）	245						
計	1,703	31	0	20	6	1	4

国際交流

■海外リエゾンオフィス

令和2年5月1日現在

区分	国・地域名	記号	施設名（都市名）	オフィス設置場所	設置年月
アジア	中国	①	北京事務所（北京）	中国科学院大気物理研究所	H19.04
		②	上海事務所（上海）	石川県上海事務所	H20.08
		③	杭州事務所（杭州）	浙江工業大学	H21.04
		④	天津事務所（天津）	天津市生物医学研究所	H21.04
		⑤	北京事務所（北京）	北京師範大学	H21.08
		⑥	上海事務所（上海）	北陸銀行上海駐在員事務所	H21.09
		⑦	国立六大学長春共同事務所（長春）	東北師範大学	H26.11
		⑧	北京事務所（北京）	日中文化交流センター	H28.10
		⑨	福州事務所（福州）	福州大学建築学院	H29.08
		⑩	上海事務所（上海）	日中文化交流センター	R1.07
		⑪	深圳事務所（深圳）	清華大学	R2.04
	インドネシア	⑫	バンドン事務所（バンドン）	バンドン工科大学	H21.04
	韓国	⑬	大田事務所（大田）	韓国地質資源研究院	H29.10
	タイ	⑭	バンコク事務所（バンコク）	モンクット王工科大学	H22.02
		⑮	バンコク事務所（バンコク）	KXビル	H29.08
		⑯	PSU事務所(ハジャイ,スラタニ,プーケット)	プリンスオブソンクラ大学	H30.11
	ベトナム	⑰	ハノイ事務所（ハノイ）	ハノイ医科大学	H22.02
アフリカ	ケニア	⑱	ナイロビ事務所（ナイロビ）	ケニア中央医学研究所	H22.03
ヨーロッパ	ベルギー	⑲	ゲント事務所（ゲント）	ゲント大学	H27.05
	ドイツ	⑳	デュッセルドルフ事務所（デュッセルドルフ）	デュッセルドルフ大学	H30.09
	オランダ	㉑	国立六大学欧州事務所（ライデン）	シーボルトハウス	H28.08
ロシアおよびNIS諸国	ロシア	㉒	ウラジオストク事務所（ウラジオストク）	ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋研究所	H20.11
		㉓	カザン事務所（カザン）	カザン連邦大学	H30.09
		㉔	クラスノヤルスク事務所（クラスノヤルスク）	クラスノヤルスク医科大学	H30.10
北アメリカ	アメリカ合衆国	㉕	USA事務所（メドフォード）	タフツ大学	H28.12
中南アメリカ	グアテマラ	㉖	ティカル事務所（フローレス）	文化スポーツ省文化自然遺産副省ティカル国立公園	H24.07
	ホンジュラス	㉗	コパン事務所（コパン・ルイナス）	ホンジュラス国立人類学歴史学研究所	H29.08



■大学間／部局間国際交流協定 機関分布

※令和2年5月1日現在

	アジア	中東	オセアニア	アフリカ	ヨーロッパ	ロシア及びNIS諸国	北アメリカ	中南アメリカ	国際機関
大学間国際交流協定 200機関（41か国1地域）	124	6	6	3	29	11	12	8	1
部局間国際交流協定 83機関（27か国1地域）	52	1	3	2	18	2	4	0	1
総計 283機関（46か国1地域）	176	7	9	5	47	13	16	8	2

■大学間国際交流 協定機関 200機関（41か国1地域）

令和2年5月1日現在

国・地域名	協定機関名	締結年月日
国際機関		
	東・東南アジア地球科学計画調整委員会「CCOP」	H23.3.29
アジア		
バングラデシュ	ダッカ大学	H22.4.19
	チッタゴン大学	H26.10.22
カンボジア	アンコール遺跡整備公団	H22.2.9
	カンボジア工科大学	H22.2.11
	カンボジア国立経営大学	H26.2.26
中国	蘇州大学	H9.1.22
	ハルビン医科大学	H11.3.20
	北京師範大学	H11.9.14
	北京工業大学	H12.8.11
	大連大学	H13.3.8
	四川大学	H15.3.5
	大連理工大学	H15.10.21
	南京大学	H16.3.26
	延辺大学	H19.1.31
	華東理工大学	H20.11.20
	南開大学	H20.12.23
	浙江工業大学	H20.12.24
	北京語言大学	H21.3.30
	西安電子科技大学	H21.8.24
	東華大学	H22.11.1
	中国科学院地理科学・資源研究所	H23.5.3
	北京大学	H23.10.19
	上海対外経貿大学	H23.12.15
	東北師範大学	H26.11.4
	青島科技大学	H26.12.23
	上海理工大学	H27.5.25
	中国人民大学	H28.2.29
	吉林大学	H28.8.24
	同済大学	H29.3.1
	華南理工大学	H29.3.24
	重慶大学	H29.5.18
	東北大学	H30.5.9
	南方科技大学	H31.4.22
	河南中医薬大学	R1.11.26
	蘭州大学	R1.11.29
インド	サビットリバイ・フール・プネー大学	H11.9.1
	ティラク・マハラシュトラ大学	H25.5.7
	ナーランダ大学	H29.4.27
インドネシア	バンドン工科大学	H20.3.3
	インドネシア教育大学	H22.5.24
	スマラン国立大学	H24.9.24
	ブラウィジャヤ大学	H24.9.25
	インドネシア大学	H24.9.25
	ガジャマダ大学	H24.10.18
	国立マラン大学	H25.4.2
	インドネシアコンピューター大学	H28.1.30
	国際女性大学	H28.1.30
	パスンダン大学	H28.1.30
	エクイタス経済大学	H28.1.30
インドネシア	ムルデカ大学マラン	H28.1.30
	ハサヌディン大学	H29.2.22
	ディポネゴロ大学	H29.7.25
	ブルタミナ大学	H29.11.7
	テルコム大学	H30.11.2
	ムハマディア大学スマラン校	R2.4.13
韓国	東亜大学	H10.4.16
	釜山大学	H12.9.26
	韓国地質資源研究院	H17.10.17
	釜慶大学	H19.1.23
	湖西大学	H24.9.25
	漢陽大学	H25.1.7
	全北大学	H25.6.24
	金烏工科大学	H26.7.16
ラオス	ラオス国立大学	H25.12.26
	ラオス保健科学大学	H25.12.27
マレーシア	マラヤ大学	H23.4.29
	マレーシア工科大学	H28.6.23
モンゴル	モンゴル国立大学	H24.10.5
	モンゴル国立医科大学	H27.10.15
	モンゴル国立がんセンター	H27.10.30
	モンゴル科学アカデミー	H27.11.16
	モンゴル国立第二病院	R1.5.16
フィリピン	国立イフガオ大学	H30.4.17
	フィリピン大学オープンユニバーシティ	H30.12.12
	国立フィリピン大学	H31.2.15
タイ	チュラロンコン大学	H11.7.16
	モンクット王工科大学 トンブリ	H12.4.21
	チェンマイ大学	H20.1.8
	プリンスオブソンクラ大学	H23.3.24
	コンケン大学	H23.6.13
	シーナカリンウィロート大学	H23.7.22
	ナレースワン大学	H25.9.26
	カセサート大学	H27.1.5
	ブラパー大学	H30.1.4
	プリンスオブソンクラ大学／タイ国立科学技術開発庁 国立遺伝子生命工学研究センター	H30.11.5
	マヒドン大学	H30.11.6
ベトナム	ハノイ医科大学	H21.9.16
	ハノイ工科大学	H21.9.18
	ベトナム金融アカデミー	H21.12.4
	カントー大学	H21.12.4
	ダナン工科大学	H21.12.4
	ハノイ貿易大学	H21.12.4
	ハイフォン医科薬科大学	H21.12.4
	ハノイ師範大学	H21.12.4
	ハノイ大学	H21.12.4
	ハノイ薬科大学	H21.12.4
	ホーチミン市薬科大学	H21.12.4
	ホーチミン市教育大学	H21.12.4
	フエ大学	H21.12.4
	ニャチャン大学	H21.12.4

国・地域名	協定機関名	締結年月日
ベトナム	ノンラム大学	H21.12.4
	タイグエン大学	H21.12.4
	タイグエン医科薬科大学	H21.12.4
	ハノイ運輸通信大学	H21.12.4
	ベトナム国家大学ハノイ校	H21.12.4
	ベトナム国家農業大学	H21.12.4
	ベトナム国家大学ハノイ工業技術大学	H21.12.4
	ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学	H21.12.4
	ベトナム国家大学ホーチミン市理科大学	H21.12.4
	ラックホン大学	H22.3.31
	ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学	H22.11.23
	ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学	H23.12.5
	ダナン大学	H24.2.27
	ハノイ建設大学	H24.3.9
	ハノイ国家大学外国語大学	H26.4.10
	ベトナム国家大学ハノイ校 日越大学	H31.2.11
台湾（地域）	国立台湾師範大学	H12.8.16
	国立台湾大学	H23.5.10
	輔仁大学	H24.12.11
	台北医学大学	H25.12.16
	国立清華大学	H29.7.31
	国立交通大学	H30.12.25
	国立成功大学	R1.7.8
	国立政治大学	R1.7.9
中東		
イラン	アザルバイジャン・シャヒド・マダニ大学	H28.3.7
サウジアラビア	イマーム大学	H22.7.8
	キングファイサル大学	H24.5.16
	北部国境大学	H30.4.6
トルコ	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学	H25.9.19
アラブ首長国連邦	シャルジャ大学	H24.1.29
オセアニア		
オーストラリア	オーストラリア国立大学	H10.8.24
	ロイヤル・メルボルン工科大学	H12.3.16
	シドニー工科大学	H24.8.15
	ニューイングランド大学	H25.4.2
	マッコーリー大学	H25.5.27
	チャールズ・ダーウィン大学	H27.4.22
アフリカ		
エジプト	アシュート大学	H12.3.24
ケニア	ケニア中央医学研究所	H23.10.4
	ナイロビ大学	H23.10.4
ヨーロッパ		
ベルギー	ゲント大学	H21.7.21
ブルガリア	バルナ医科大学	H22.4.7
チェコ	カレル大学	H7.9.4
	チェコ工科大学	H26.10.7
フィンランド	ユバスキュラ大学	H10.12.17
	アールト大学	H12.8.21
フランス	ロレーヌ大学	S51.9.21
	オルレアン大学	H22.7.22
	トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校	H25.9.10
	ジャン・ムーラン・リヨン第３大学	H27.2.19

国・地域名	協定機関名	締結年月日
ドイツ	ジーゲン大学	H5.9.14
	レーゲンスブルク大学	H11.10.13
	ヴュルツブルク大学	H27.10.26
	デュッセルドルフ大学	H29.7.20
アイルランド	ダブリンシティ大学	H3.10.14
イタリア	フィレンツェ大学	H23.2.1
ポーランド	ルブリン工科大学	H12.8.17
	ワルシャワ大学	H22.11.22
ポルトガル	ミーニョ大学	H29.7.31
スロバキア	スロバキア工科大学	H12.8.23
スペイン	バルセロナ自治大学	H22.4.14
	サラマンカ大学	H25.3.13
	サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学	H25.3.15
	アルカラ大学	H30.9.13
スウェーデン	カールスタード大学	H30.3.19
イギリス	リバプール・ジョン・モアズ大学	H3.10.4
	シェフィールド大学	H3.10.8
	セントラル・ランカシャー大学	H26.4.2
	セインズベリー日本藝術研究所	H27.3.3
ロシアおよびNIS諸国		
カザフスタン	カザフ国立大学	R1.8.30
ロシア	カザン連邦大学	H10.9.3
	ロシア科学アカデミー極東支部	H12.11.22
	国立アルタイ大学	H26.1.10
	極東連邦大学	H26.4.14
	クラスノヤルスク医科大学	H29.3.17
	国立イルクーツク大学	H29.12.25
	タタルスタンがんセンター	H30.1.7
	サンクトペテルブルク医科大学	H30.2.9
	サンクトペテルブルク国立大学	H30.3.6
	モスクワ国立大学	H30.11.9
北アメリカ		
カナダ	ユーコンカレッジ	H25.9.13
	モントリオール大学	H25.11.29
	マニトバ大学	H30.11.7
アメリカ合衆国	ペンシルバニア大学	S31.1.20
	ニューヨーク州立大学バッファロー校	S49.6.12
	ウィリアム・アンド・メアリー大学	H3.6.6
	タフツ大学	H8.12.27
	ニューヨーク州立大学 ニューポルツ校	H10.8.5
	ネヴァダ大学リノ校	H21.11.24
	イリノイカレッジ	H23.10.14
	ワグナーカレッジ	H26.3.27
	カリフォルニア大学デービス校	H29.9.29
中南アメリカ		
ブラジル	リオデジャネイロ州立大学	H28.1.13
	アマゾナス連邦大学	H28.8.25
グアテマラ	文化スポーツ省文化自然遺産副省	H23.6.27
	グアテマラ・デル・バジェ大学	H27.8.3
	グアテマラ・サン・カルロス大学	H28.9.22
ホンジュラス	ホンジュラス国立人類学歴史学研究所	H25.2.8
	ホンジュラス国立自治大学	H29.12.15
メキシコ	モンテレイ工科大学	H22.5.3

■部局間国際交流 協定機関 83機関（27か国1地域）

令和2年5月1日現在

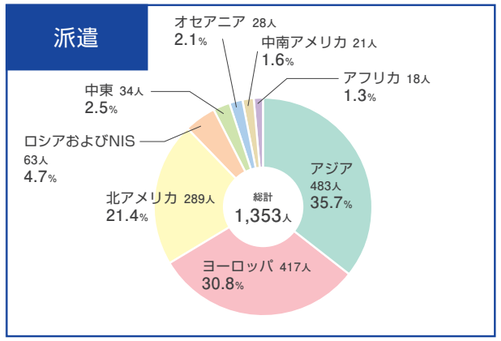
区分	国・地域名	本学の協定締結部局	協定機関	締結年月日
国際機関		医薬保健研究域	国際原子力機関「IAEA」	H30.11.29
アジア	バングラデシュ	自然科学研究科	シャジャイ科学技術大学大学院物理科学研究科	R2.1.22
		薬学系	アジアパシフィック大学薬学部	H30.11.9
	中国	人間社会学域	雲南民族大学民族文化学院	H23.10.31
		人間社会学域	中山大学地理科学与企画学院	H26.12.11
		人間社会環境研究科	浙江大学人文学院	H22.10.11
		理工学域	浙江大学理学部	H21.4.30
		理工学域	清華大学環境学院	H24.2.20
		理工学域	山東大学工学部	H24.3.27
		理工学域	復旦大学社会発展与公共政策学院	H24.8.6
		理工学域	清華大学建築学院	H24.8.27
		理工学域	福州大学建築学院および環境与資源学院	H26.4.22
		理工学域	浙江大学情報・電子工程学院	H29.10.29
		理工学域	上海交通大学電子情報・電気工程学院電子工程系	H30.3.5
		理工学域	山東建築大学スマートシティ連携イノベーションセンター	R2.4.24
		環日本海域環境研究センター	中国科学院大気物理研究所大気科学と地球流体力学数値モデリング国家重点研究所	H19.4.24
		環日本海域環境研究センター	復旦大学公共衛生学院	H30.12.25
		医薬保健学総合研究科・医学類	南方医科大学	H13.5.11
		医薬保健学総合研究科・医学類	中国医科大学	H14.5.7
		医薬保健学総合研究科	復旦大学上海医学院	H28.12.21
		医薬保健学総合研究科	青海大学チベット医学院	H31.2.1
		薬学系	瀋陽薬科大学	H23.3.24
		薬学系	中国薬科大学基礎医学・臨床薬学部	H30.5.1
		薬学系	青海大学チベット医学院	R1.11.25
		がん進展制御研究所	復旦大学上海がん病院	H22.7.27
	インド	理工学域	DCR理工大学土木工学科	H30.3.9
	インドネシア	理工学域	アンダラス大学工学部	R1.8.1
		医薬保健学総合研究科	ムハマディア大学・ポンティアナック校看護学部	H31.1.22
	韓国	人間社会学域	翰林大学人文学部	H21.10.28
		人間社会環境研究科	仁荷大学文学部	H22.9.30
		人間社会環境研究科	翰林大学グローバル協力大学院	R1.6.28
		理工学域	韓国科学技術院工学部	H17.3.10
		理工学域	檀国大学工学部	H18.11.1
		環日本海域環境研究センター	慶熙大学理学部	H17.12.19
		医薬保健学総合研究科・医学類	蔚山大学医学部	H20.10.24
		がん進展制御研究所	韓国科学技術研究院遺伝工学研究所	H5.4.22
		がん進展制御研究所	ソウル大学がん研究所	H25.7.10
		がん進展制御研究所	ソウル大学がん微小環境研究センター	H28.4.4
	ミャンマー	理工学域	ダゴン大学地質学部	H29.1.23
		医薬保健学総合研究科	ヤンゴン第２医科大学	H25.10.23
	フィリピン	理工学域	フィリピン大学ディリマン校	H11.5.11
	タイ	人間社会学域	チャンカセーム・ラチャパット大学人文社会学部	H29.2.27
		理工学域	タマサート大学シリントーン国際工学部	H18.10.24
		環日本海域環境研究センター	国立科学技術開発庁国立遺伝子生命工学研究センター	H30.10.25
	ベトナム	理工学域	トゥイーロイ大学	H26.10.27
		理工学域	バリアブンタウ大学海洋経済技術学部	H30.10.26
		医薬保健研究域	ベトナム海洋医学研究所	H24.5.31
		医薬保健研究域	ベトナム社会主義共和国資源環境省 ベトナムで米軍が使用の有毒化学物質による被害克服の国家対策委員会	H25.3.26
		医薬保健研究域	ハノイ国立小児病院	H25.4.3
		医学系	Hospital E 循環器病研究センター	H23.6.8
	台湾（地域）	法学類	国立台北大学法律学院	R2.3.9
		理工学域	国立台北科技大学工程学院	H24.10.5
		自然科学研究科	台湾情報セキュリティーセンター国立台湾科技大学拠点	H30.6.12
中東	トルコ	薬学系	アンカラ大学薬学部	H22.2.8
オセアニア	オーストラリア	理工学域	南オーストラリア大学情報工学・環境工学学群	H11.1.20
	ニュージーランド	環日本海域環境研究センター	オークランド工科大学ニュージーランド応用生態学研究所	H30.4.11
		医薬保健研究域	オークランド工科大学保健環境科学部	H26.3.17
アフリカ	エジプト	環日本海域環境研究センター	エジプト国立研究センター	H27.4.30
	ナイジェリア	先進予防医学研究科	ヒトウイルス研究所	H29.2.27
ヨーロッパ	オーストリア	理工学域	ウィーン大学物理学部	H27.6.7
	ベルギー	人間社会学域	ブリュッセル自由大学	R1.7.1
		人間社会学域	リエージュ大学文学部	R2.1.14
	チェコ	理工学域	プラハ化学工業大学	H15.4.1
	フランス	法学系	トゥールーズ第１キャピトル大学法学部	H27.10.15
		理工学域	サヴォア大学	H12.3.14
		自然科学研究科	トゥール大学理工学部	H28.11.21
		自然科学研究科物質化学専攻	ストラスブール大学欧州化学学校	R2.1.23
		医薬保健研究域	グルノーブル・アルプ大学発達生物科学研究科	H31.4.15
	ドイツ	理工学域	シュトゥットガルト大学	H20.3.20
	イタリア	人間社会学域	ボローニャ大学言語文学翻訳通訳学部フォルリ校および通訳翻訳学部	H29.3.23
		先進予防医学研究科	トレント大学心理認知科学部	H28.5.23
	オランダ	人間社会学域	ライデン大学人文学部	H25.12.10
	ノルウェー	国際学類	ノルウェー科学技術大学社会科学テクノロジー管理学部社会学・政治学学科	H21.7.28
	ポーランド	国際機構	ヤギェウォ大学文献学部	R1.9.24
	スウェーデン	学校教育学類・教職実践研究科	ウプサラ大学教育学部	R2.2.17
	イギリス	人間社会学域	オックスフォード大学ペンブロックカレッジ	H8.12.1
		理工学域	スウォンジー大学工学部	H28.12.5
ロシアおよびNIS諸国	ロシア	理工学域	理論実験物理学研究所	H9.7.1
		医薬保健学総合研究科・医学類	国立極東医科大学	H20.6.10
北アメリカ	アメリカ合衆国	人間社会学域・人間社会環境研究科	プリンストン大学東洋学部	H12.4.28
		学校教育学類附属小学校	バーウィック学園初等学校	H10.5.29
		医薬保健学総合研究科・医学類	ハワイ大学ジョンA.バーンズ医学部	H19.12.3
		国際機構	リーハイ大学人文科学部	H27.9.15

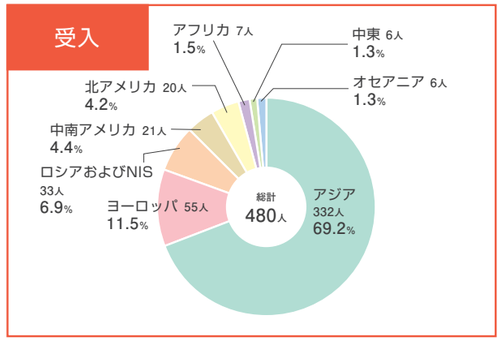
単位：人

令和元年度

※グラフの「%（パーセント）」表記は，小数点第2位を四捨五入しているため，合計値が「100%」にならない場合があります。

■研究者等交流実績／派遣および受入





区分	国・地域名	派遣	受入
アジア	バングラデシュ	3	3
	カンボジア	7	2
	中国	158	106
	インド	7	11
	インドネシア	18	21
	韓国	57	10
	ラオス	3	0
	マレーシア	5	3
	モンゴル	20	14
	ミャンマー	21	7
	ネパール	3	1
	北朝鮮	2	0
	パキスタン	0	1
	フィリピン	18	43
	シンガポール	32	10
	スリランカ	1	0
	タイ	67	39
	ベトナム	15	27
	台湾	46	34
	計	483	332
中東	バーレーン	2	0
	イラン	3	0
	イスラエル	8	0
	ヨルダン	2	0
	オマーン	2	1
	カタール	0	1
	サウジアラビア	4	2
	トルコ	11	0
	アラブ首長国連邦	2	0
	イエメン	0	2
	計	34	6
オセアニア	オーストラリア	23	3
	ニュージーランド	5	3
	計	28	6
アフリカ	中央アフリカ	1	0
	エジプト	13	1
	ケニア	1	2
	ナイジェリア	0	4
	南アフリカ	3	0
	計	18	7
ヨーロッパ	オーストリア	17	0
	ベルギー	15	2
	クロアチア	1	0
	チェコ	25	2

区分	国・地域名	派遣	受入
ヨーロッパ	デンマーク	3	0
	エストニア	6	0
	フィンランド	4	0
	フランス	51	12
	ドイツ	74	15
	ギリシャ	8	0
	ハンガリー	5	0
	イタリア	30	7
	モナコ	2	0
	ラトビア	1	0
	リトアニア	1	0
	オランダ	15	6
	ノルウェー	3	0
	ポーランド	20	2
	ポルトガル	14	1
	ルーマニア	1	0
	スロベニア	2	0
	スペイン	31	1
	スウェーデン	7	0
	スイス	20	0
	イギリス	61	7
	計	417	55
ロシア及びNIS諸国	ベラルーシ	1	0
	カザフスタン	2	0
	キルギス	1	0
	ロシア	57	33
	ウクライナ	2	0
	計	63	33
北アメリカ	カナダ	66	2
	アメリカ合衆国	223	18
	計	289	20
中南アメリカ	ブラジル	9	2
	エクアドル	0	1
	エルサルバドル	1	0
	グアテマラ	7	17
	ホンジュラス	2	1
	メキシコ	2	0
	計	21	21
	総計	1,353	480

留学実績

■外国人留学生受入状況の推移

単位：人

各年5月1日現在

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
学士	55	53	64	75	79	73	62
大学院（修士）	136	144	145	132	168	196	198
大学院（博士）	168	171	195	229	225	223	233
研究生・その他	136	165	153	149	160	174	125
計	495	533	557	585	632	666	618

■国・地域別外国人留学生受入状況

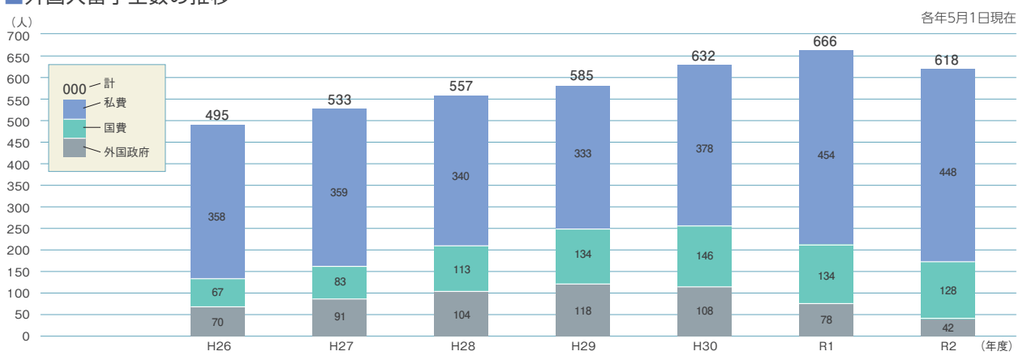
単位：人

令和2年5月1日現在

区分	国・地域名	学域学生	大学院（修士課程）	大学院（博士課程）	研究生・その他	計
アジア	バングラデシュ		1	16		17
	カンボジア		2	2	2	6
	中国	27	118	83	67	295
	インド		2		1	3
	インドネシア	1	32	58	8	99
	韓国	16	2		2	20
	マレーシア	8	4	3		15
	モンゴル			9		9
	ミャンマー		1	6		7
	フィリピン		1	3		4
	シンガポール		1			1
	スリランカ		2	1		3
	タイ		14	12	9	35
	ベトナム	7	6	25	5	43
	台湾	1	2		3	6
中東	パキスタン			1		1
	イラン			1		1
	イラク		1	1		2
アフリカ	エジプト			3		3
	カーボベルデ				1	1
	チュニジア			1		1
	モーリタニア				1	1
ヨーロッパ	ベルギー		1			1
	フィンランド				1	1
	フランス				4	4
	ドイツ			1	3	4
	アイルランド				1	1
	マケドニア		1			1
	ポーランド				2	2
	ポルトガル		1		1	2
	スペイン				2	2
ロシアおよびNIS諸国	ロシア		5	5	7	17
	ウクライナ	1				1
北アメリカ	アメリカ合衆国			1	1	2
中南アメリカ	ブラジル	1			3	4
	コロンビア				1	1
	キューバ			1		1
	エルサルバドル		1			1
	合計	62	198	233	125	618

■外国人留学生数の推移

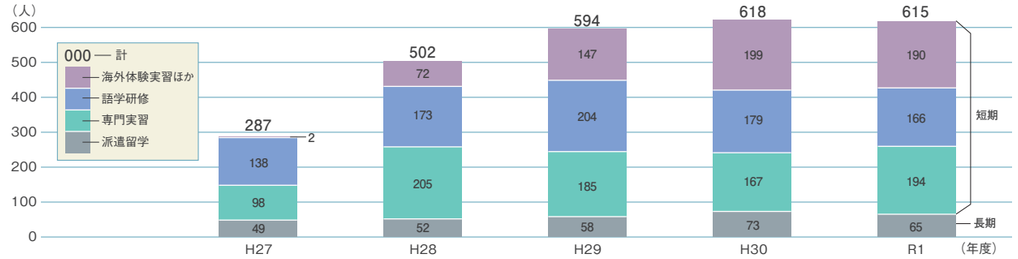
各年5月1日現在



派遣実績

■金沢大学公式海外派遣プログラム派遣者数の推移

各年度実績



■大学別派遣留学生派遣状況

各年度実績
※印は部局間国際交流協定校

区分	国・地域名	大学名	H27	H28	H29	H30	R1
アジア	中国	北京語言大学	1			1	2
		北京師範大学	2				1
		大連理工大学			1		
		東華大学			2		
		南京大学		1		1	1
		南開大学					
		蘇州大学		2	1		2
		延辺大学					1
		中国人民大学					1
	インドネシア	インドネシア大学					1
	インド	ティラク・マハラシュトラ大学			1	1	
	韓国	漢陽大学	1		2	1	
	マレーシア	マラヤ大学		2	2	2	3
	タイ	チェンマイ大学	1		1	2	1
		カセサート大学		2			1
		シーナカリンウィロート大学				1	1
	ベトナム	ハノイ大学					1
		ハノイ国家大学外国語大学					1
	台湾	国立台湾師範大学	1	1		2	
		国立台湾大学		1		2	2
		※国立政治大学法学院			1		
中東	トルコ	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学	1				
オセアニア	オーストラリア	オーストラリア国立大学	1	1	1	1	
		ニューイングランド大学	2	2	2	1	
		シドニー工科大学	1	3	3	5	1
		チャールズ・ダーウィン大学	1	1	1		1
ヨーロッパ	ベルギー	ゲント大学		1	2	7	5
	チェコ	カレル大学			1	2	
	スウェーデン	カールスタード大学					2
	フィンランド	アールト大学	1	1		1	
		ユバスキュラ大学	1	1	3	2	4
	フランス	ジャン・ムーラン・リヨン第３大学		1		2	
		オルレアン大学	2	2	2		2
		ロレーヌ大学	1	2			1
		トウールーズ大学ジャン・ジョレス校	2	2	2		2
	ドイツ	レーゲンスブルク大学	3	6	4	5	2
		ジーゲン大学	1				
		デュッセルドルフ大学	4	4	3	3	2
		ヴュルツブルク大学				2	2
	アイルランド	ダブリンシティ大学	1	2	2	2	2
	ノルウェー	※ノルウェー科学技術大学社会科学テクノロジー管理学部社会学・政治学学科				1	1
	ポーランド	ワルシャワ大学				1	2
	スペイン	アルカラ大学					1
		バルセロナ自治大学	2	2	2	2	
		サラマンカ大学	2			2	
		サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学				2	
	イギリス	セントラル・ランカシャー大学	3	1	3	3	2
		シェフィールド大学	2	2	2	2	2
	イタリア	※ボローニャ大学言語文学翻訳通訳学部フォルリ校および通訳翻訳学部				1	
	オランダ	※ライデン大学人文学部				1	
ロシアおよびNIS諸国	ロシア	カザン連邦大学	1		3	1	
		極東連邦大学	1				
北アメリカ	カナダ	モントリオール大学	3	1	1	2	3
	アメリカ合衆国	イリノイカレッジ	2		2	2	3
		ニューヨーク州立大学 バッファロー校	2	2	2	2	
		ニューヨーク州立大学 ニューポルツ校	2	2	2	2	2
		タフツ大学		2	2		1
		ネヴァダ大学リノ校	1	2	2	2	2
		ワグナーカレッジ				1	1
		合計	49	52	58	73	65

科研費・外部資金受入等

科研費

■受入状況

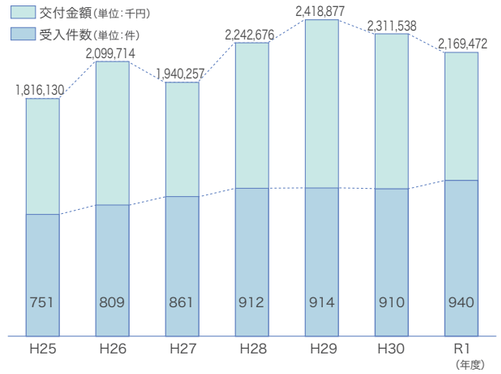
令和元年度実績

研究種目	件数	交付金額（千円）
新学術領域研究	40	201,760
基盤研究（S）	3	75,140
基盤研究（A）	11	96,590
基盤研究（B）	115	537,030
基盤研究（C）	437	571,962
挑戦的研究（開拓，萌芽）	59	163,800
若手研究	157	266,190
若手研究（A）	3	10,270
若手研究（B）	34	32,110
研究活動スタート支援	25	34,060
特別研究員奨励費	32	33,920
国際共同研究加速基金	24	146,640
合計	940	2,169,472

※採択者の転入・転出，廃止等を踏まえ集計したもの。
※間接経費のある場合は，交付金額に同経費を含む。

■受入件数・交付金額の推移

各年度実績



外部資金

■受入状況

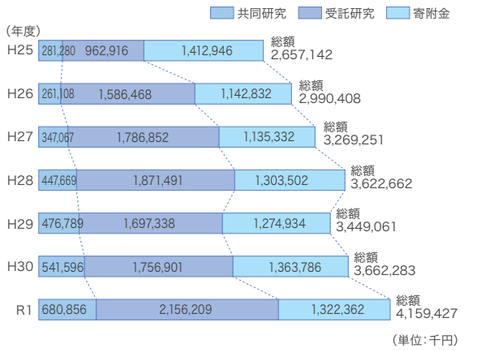
令和元年度実績

区分	件数	受入金額（千円）
共同研究	324	680,856
受託研究	299	2,156,209
寄附金	2,578	1,322,362
合計	3,201	4,159,427

※「受託研究」には，治療薬試験分，病理組織検査等は含まない。
※「寄附金」には，金沢大学基金，預金利息等を含む。

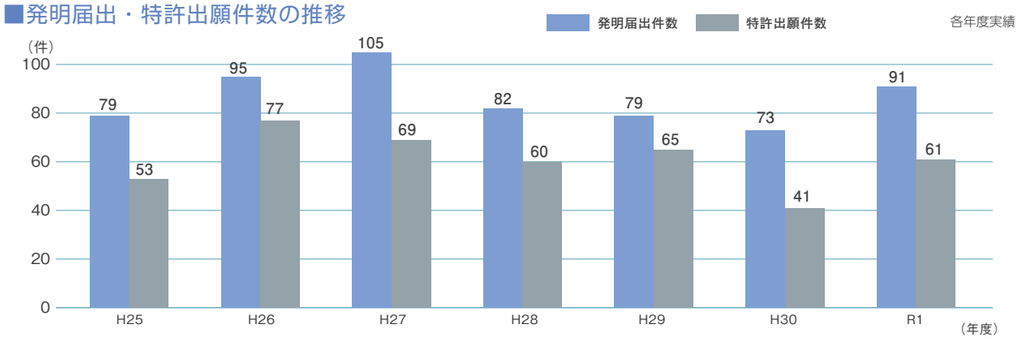
■受入金額の推移

各年度実績



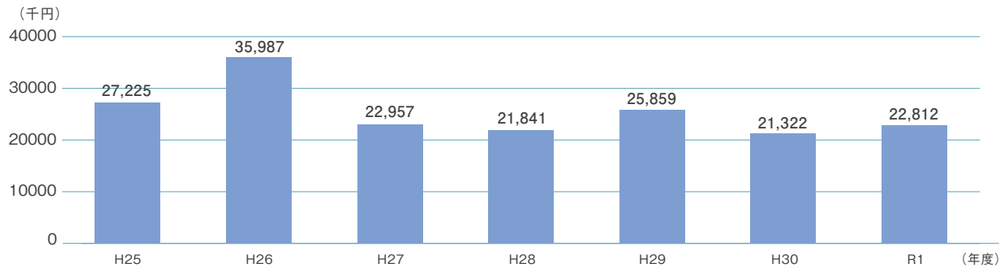
■発明届出・特許出願件数の推移

各年度実績



■特許権実施等収入の推移

各年度実績



附属病院

■病床数

令和2年5月1日現在

診療科等名	合計
消化器内科	50床
内分泌･代謝内科	20
リウマチ･膠原病内科	15
呼吸器内科	25
循環器内科	42
腎臓内科	15
血液内科	25
脳神経内科	20
神経科精神科	46
小児科	25
皮膚科	25
形成外科	5
心臓血管外科	34
呼吸器外科	28
小児外科	5
胃腸外科	38
肝胆膵･移植外科	38
乳腺外科	15
整形外科	43
脊椎･脊髄外科	20
泌尿器科	40
眼科	45
耳鼻咽喉科･頭頸部外科	36
産科婦人科	35
麻酔科蘇生科	1
脳神経外科	36
歯科口腔外科	7
周産母子センター	11
がんセンター	15
緩和ケア病床	2
ICU	22
NICU	6
MFICU	3
GCU	12
無菌治療室	4
RI病床	6
共通病床	23
合計	838

■患者数

令和元年度

診療科等名	外来		入院	
	患者延数	1日平均患者数	患者延数	1日平均患者数
消化器内科	25,487人	106.2人	19,914人	54.4人
内分泌･代謝内科	24,865	103.6	5,793	15.8
リウマチ･膠原病内科	14,453	60.2	7,253	19.8
呼吸器内科	17,128	71.4	10,758	29.4
循環器内科	20,322	84.7	13,722	37.5
腎臓内科	12,568	52.4	6,343	17.3
血液内科	9,632	40.1	7,264	19.8
総合診療科	717	3.0	0	0.0
脳神経内科	8,706	36.3	7,533	20.6
神経科精神科	17,951	74.8	10,524	28.8
小児科	17,358	72.3	11,091	30.3
子どものこころの診療科	734	3.1	0	0.0
放射線科	738	3.1	0	0.0
放射線治療科	10,752	44.8	0	0.0
皮膚科	22,235	92.6	6,506	17.8
形成外科	2,824	11.8	1,847	5.0
漢方医学科	4,037	16.8	164	0.4
心臓血管外科	4,522	18.8	11,011	30.1
呼吸器外科	5,834	24.3	9,335	25.5
胃腸外科	9,277	38.7	16,341	44.6
肝胆膵･移植外科	4,405	18.4	12,665	34.6
内分泌･総合外科	2,113	8.8	927	2.5
乳腺科	10,481	43.7	4,848	13.2
整形外科	18,539	77.2	14,847	40.6
脊椎･脊髄外科	5,517	23.0	5,956	16.3
泌尿器科	17,242	71.8	14,238	38.9
眼科	31,152	129.8	12,342	33.7
耳鼻咽喉科･頭頸部外科	12,235	51.0	10,680	29.2
産科婦人科	14,714	61.3	15,988	43.7
麻酔科蘇生科	7,184	29.9	0	0.0
脳神経外科	6,985	29.1	10,528	28.8
核医学診療科	1,826	7.6	831	2.3
歯科口腔外科	18,606	77.5	2,408	6.6
がんセンター	4,087	17.0	5,416	14.8
疾病予防センター	263	1.1	102	0.3
遺伝診療部	108	0.5	0	0.0
合計	385,597	1,606.7	257,175	702.7

外来診療日数：240日

附属図書館

■施設規模・蔵書数

令和2年5月1日現在

名称	建物面積	閲覧席	蔵書数			
			和書	洋書	和洋書 計	雑誌
中央図書館	10,456㎡	1,097席	903,823冊	303,601冊	1,207,424冊	16,210種
自然科学系図書館	5,758	694	202,656	224,014	426,670	11,715
医学図書館	3,580	395	130,891	150,643	281,534	8,499
合計	19,794	2,186	1,237,370	678,258	1,915,628	36,424

※医学図書館には保健学類図書室を含む

■サービス状況

令和元年度

総開館日数		845日
総開館時間数		9,482時間
入館者総数		690,116人
貸出冊数		117,058冊
文献複写	学内から受付	355件
	外部から受付	2,727件
	外部へ依頼	2,319件
図書館間相互貸借	学内貸借	952件
	貸出	901件
	借受	989件

※数値は3館の合計数

■情報検索サービス

電子ジャーナルパッケージ名	タイトル数
Science Direct	2,280
Springer Link	1,584
Wiley Online Library	1,410
メディカルオンライン	1,421
Taylor&Francis	2,209
Oxford Journals	245
JSTOR	115
PsycARTICLES	117
LWW Fixed 50	50
GeoScienceWorld	48
ACS	61
ASCE	37
Nature	26
ASME	31
その他	171
合計	9,805

令和元年度

ネットワーク対応データベース
医学中央雑誌 Web版
最新看護索引Web
化学書資料館
聞蔵Ⅱテキスト for Libraries
ジャパンナレッジ Lib
日経テレコン21
日経BP記事検索サービス
CINAHL
EconLit
Evidence Based Medicine Reviews
PsycINFO
InCites Journal & Highly Cited Data(JCR+ESI)
ざっさくプラス
MathSciNet
New York Times
SciFinder
Scopus
TKCローライブラリー
Westlaw Next
今日の臨床サポート

■学外利用者数

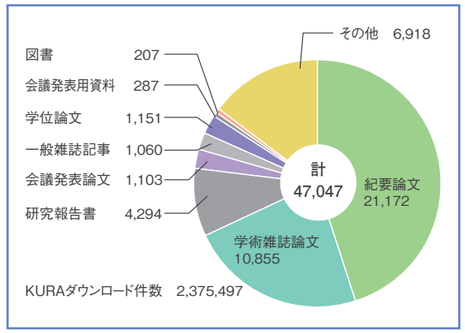
令和元年度

	学生	研究者	その他	合計
中央図書館	183人	75人	1,125人	1,383人
自然科学系図書館	124	108	923	1,155
医学図書館	129	29	387	545
合計	436	212	2,435	3,083

※医学図書館には保健学類図書室を含む

■資料種類別 KURA 登録数

令和元年度
単位：件



土地・建物および所在地

キャンパス等名	土地（㎡）	建物（㎡）	所在地・部局等の名称
角間キャンパス	2,008,565	250,458	〒920-1192　金沢市角間町 人間社会学域（研究域） 理工学域（研究域） 医薬保健学域（研究域）〔薬学類（系）・創薬科学類〕 融合研究域 大学院人間社会環境研究科 大学院自然科学研究科 大学院医薬保健学総合研究科〔創薬科学専攻・薬学専攻〕 大学院新学術創成研究科 大学院法務研究科 大学院教職実践研究科 国際基幹教育院 養護教諭特別別科 グローバル人材育成推進機構（O-GHRD） 新学術創成研究機構（InFiniti） 先端科学・社会共創推進機構（FSSI） 国際機構 がん進展制御研究所（CRI） ナノ生命科学研究所（WPI-NanoLSI） ナノマテリアル研究所（NanoMaRi） 設計製造技術研究所（AMTI） 附属図書館〔中央図書館・自然科学系図書館〕 資料館 総合メディア基盤センター 環日本海域環境研究センター 学際科学実験センター〔実験動物研究施設角間分室・アイソトープ理工系研究施設・機器分析研究施設〕 環境保全センター 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー 高大接続コア・センター 保健管理センター 極低温研究室 埋蔵文化財調査センター 技術支援センター 附属教育実践支援センター 附属薬用植物園 金沢大学学生留学生宿舎「先魁」「北溟」 国際交流会館 金沢大学創立五十周年記念館「角間の里」 角間ゲストハウス 大学会館 金沢大学本部棟
宝町・鶴間キャンパス	151,053	177,533	＜宝町地区＞ 〒920-8640　金沢市宝町13番1号 医薬保健学域（研究域）〔医学類（系）〕 大学院医薬保健学総合研究科〔医科学専攻・医学専攻〕 大学院先進予防医学研究科 附属図書館〔医学図書館〕 学際科学実験センター 〔実験動物研究施設・遺伝子研究施設・アイソトープ総合研究施設〕 子どものこころの発達研究センター 先進予防医学研究センター
			＜鶴間地区＞ 〒920-0942　金沢市小立野5丁目11番80号 医薬保健学域（研究域）〔保健学類（系）〕 大学院医薬保健学総合研究科〔保健学専攻〕
			＜宝町地区（附属病院）＞ 〒920-8641　金沢市宝町13番1号 附属病院

キャンパス等名	土地（㎡）	建物（㎡）	所在地・部局等の名称
平和町地区	79,876	22,334	〒921-8105 金沢市平和町1丁目1番15号 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校 附属高等学校
東兼六地区	10,517	4,813	〒920-0933 金沢市東兼六町2番10号 附属特別支援学校
辰口地区	262,431	3,401	〒923-1225 能美市松が岡5丁目163 辰口共同研修センター
			〒923-1224 能美市和気町オ24 環日本海域環境研究センター〔低レベル放射能実験施設〕
小木地区	26,488	1,442	〒927-0553 石川県鳳珠郡能登町小木 環日本海域環境研究センター〔臨海実験施設〕
越坂地区	0	1,329	〒927-0552 石川県鳳珠郡能登町字越坂 理工学域能登海洋水産センター
潟端地区	1,489	627	〒929-0346 石川県河北郡津幡町潟端り53 潟端短艇庫
つつじが浜地区	993	439	〒926-0851 七尾市つつじが浜3番77 七尾ヨット艇庫
その他	3,742	2,840	〒921-8031 金沢市野町5丁目8番10号 泉学寮（男子寮）〔定員168人〕　※令和5年3月閉寮
	4,194	2,678	〒921-8034 金沢市泉野町2丁目13番1号 白梅寮（女子寮）〔定員140人〕　※令和5年3月閉寮
	19,881	19,574	職員宿舎
	-	-	〒920-0913 金沢市西町3番丁16番地 金沢大学サテライト・プラザ
	-	-	〒103-0022　東京都中央区日本橋室町3丁目2番1号 日本橋室町三井タワー 5階5-A 金沢大学東京事務所
合計	2,569,229	487,468	

DATA

建物配置図

角間キャンパス

※各施設の記号はキャンパス内に設置している案内板に対応

北地区

- N1 大学会館（食堂・売店・郵便局）
- N2 中央図書館・資料館
- N3 総合教育Ｉ号館
  【国際学類，国際基幹教育院，国際機構留学生教育部】
- N4 総合教育講義棟
- N5 総合教育２号館
  【国際基幹教育院，人間社会環境研究科】
- N6 人間社会Ｉ号館
  【人文学類，地域創造学類，国際学類，人間社会環境研究科】
- N7 人間社会第Ｉ講義棟
- N8 人間社会２号館
  【法学類，経済学類，人間社会環境研究科】
- N9 北福利施設（食堂）
- N10 人間社会３号館
  【学校教育学類，地域創造学類，教職実践研究科，法務研究科】
- N11 人間社会第２講義棟
- N12 人間社会４号館
  【学校教育学類，地域創造学類，教職実践研究科】
- N13 人間社会５号館
  【学校教育学類，地域創造学類，教職実践研究科】
- N14 工作実習棟
- N15 教育実践支援センター
- N16 プール
- N17 埋蔵文化財調査センター
- N18 北課外活動共用施設
- N19 屋内運動場（体育館）
- N20 エネルギーセンター

南地区

- S1 自然科学本館
- S2 自然科学系図書館，南福利施設（食堂・売店）
- S3 自然科学Ｉ号館
  【理工学域，薬学類，創薬科学類】
  ナノマテリアル研究所
- S4 自然科学２号館
  【理工学域】
- S5 自然科学３号館
  【理工学域】
- S6 がん進展制御研究所
- S7 環境保全センター
- S9 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー，ハードラボＩ
- S10 ハードラボ２
- S11 環日本海域環境研究センター，ハードラボ３
- S12 設計製造技術研究所，ハードラボ４
- S13 技術支援センター
- S14 自然科学大講義棟
- S16 学生留学生宿舎「先魁（さきがけ）」「北溟（ほくめい）」

中地区

- C1 本部棟，保健管理センター，先端科学・社会共創推進機構
- C2 総合メディア基盤センター
- C3 中福利施設（食堂・売店）
- C4 自然科学５号館
  【理工学域】
- C5 インキュベーション施設，新学術創成研究機構ナノ生命科学研究所
- C6 新学術創成研究機構ナノ生命科学研究所
- C7 極低温研究室
- C8 学際科学実験センター アイソトープ理工系研究施設
- C10 角間ゲストハウス
- C11 国際交流会館

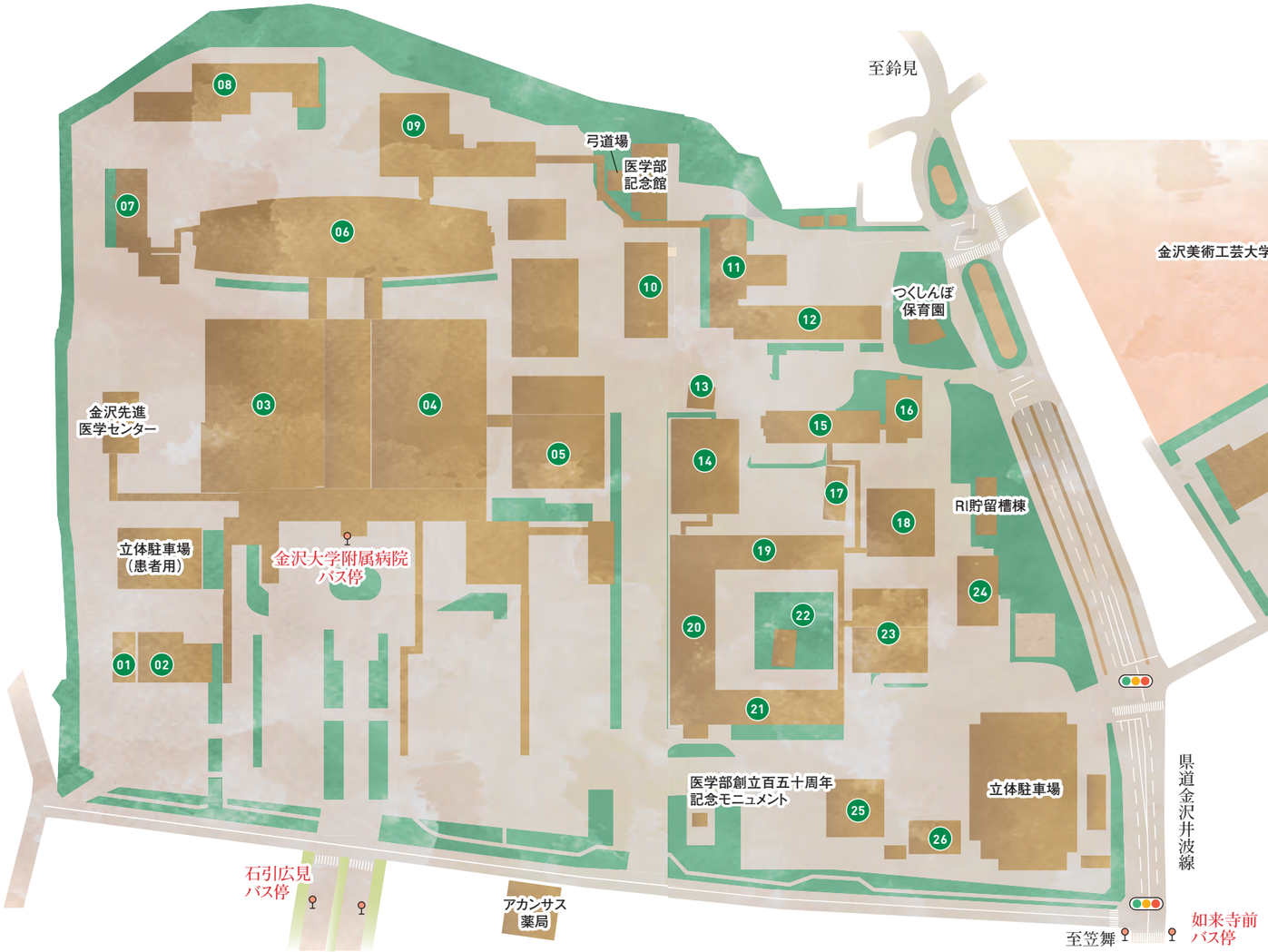
建物配置図

宝町・鶴間キャンパス

宝町地区

01 先端医療開発センター
02 アネックス棟
03 中央診療棟
04 外来診療棟，金大病院CPDセンター
05 医学類C棟
06 病棟（西病棟／東病棟）
07 MRI-CT棟
08 看護師宿舎
09 北病棟
10 十全講堂
11 医学類A棟
12 医学類B棟
13 医学類病理標本庫
14 医学図書館
15 医学類D棟（全学共用教育研究棟），子どものこころの発達研究センター，先進予防医学研究センター
16 ★遺伝子研究施設
17 医学類解剖標本庫
18 ★実験動物研究施設
19 医学類E棟
20 医学類教育棟
21 医学類F棟
22 医学類旧書庫
23 医学類G棟
24 ★アイソトープ総合研究施設
25 医学類福利施設
26 課外活動施設

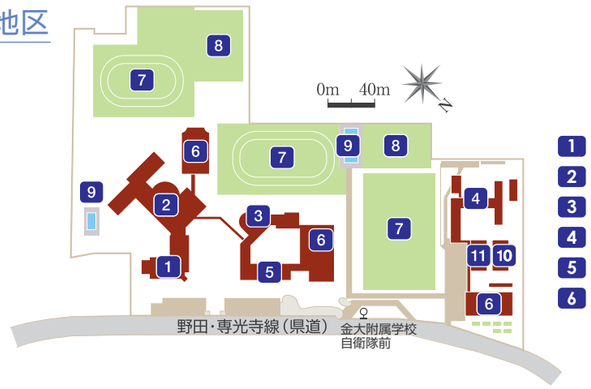
★学際科学実験センター



鶴間地区

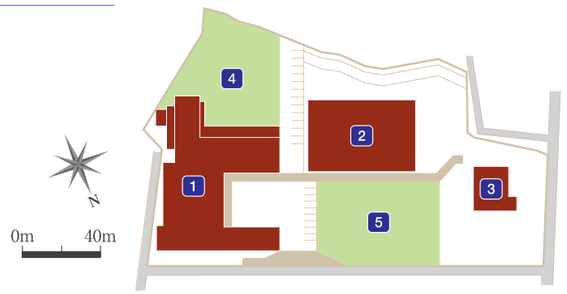
1 保健学類Ⅰ号館
2 保健学類2号館
3 保健学類3号館
4 保健学類4号館
5 保健学類5号館
6 体育館
7 保健学類福利施設

平和町地区



1 附属幼稚園
2 附属小学校
3 附属中学校
4 附属高等学校
5 附属学校事務
6 体育館
7 運動場
8 テニスコート
9 プール
10 附属高校創立60周年記念館「有朋館」
11 武道場

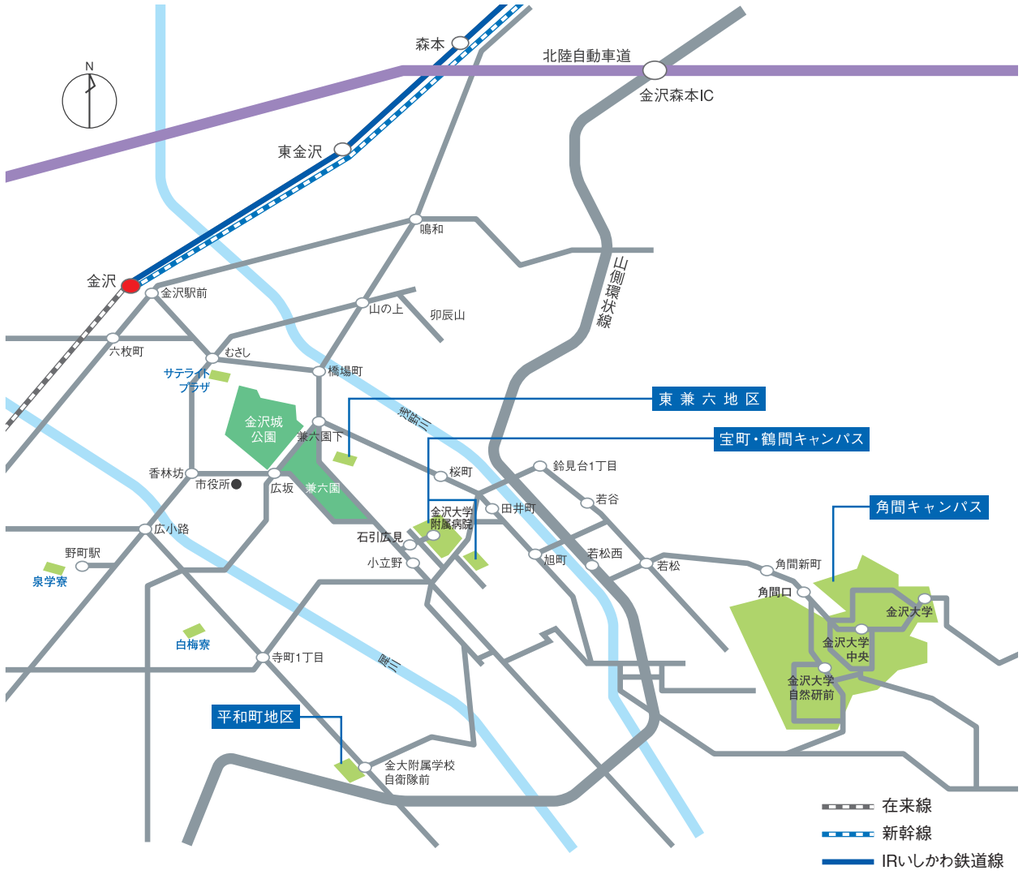
東兼六地区



1 附属特別支援学校
2 特別支援学校体育館
3 すずかけの家（日常生活訓練施設）
4 運動能力育成施設
5 運動場

キャンパス位置図

金沢市内



東京方面から金沢へのアクセス

●航空機利用

羽田空港→小松空港　所要約1時間
（小松空港→金沢駅は北陸鉄道バスで約1時間）

●JR利用

東京→金沢　新幹線かがやき　所要約2時間30分
新幹線はくたか　所要約3時間

名古屋方面から金沢へのアクセス

●JR利用

名古屋→金沢　新幹線,特急しらさぎ　所要約2時間40分

大阪・京都方面から金沢へのアクセス

●JR利用

大阪→京都→金沢　特急サンダーバード　所要約2時間40分

金沢駅から主要キャンパスへのアクセス〈北陸鉄道バス利用の場合〉

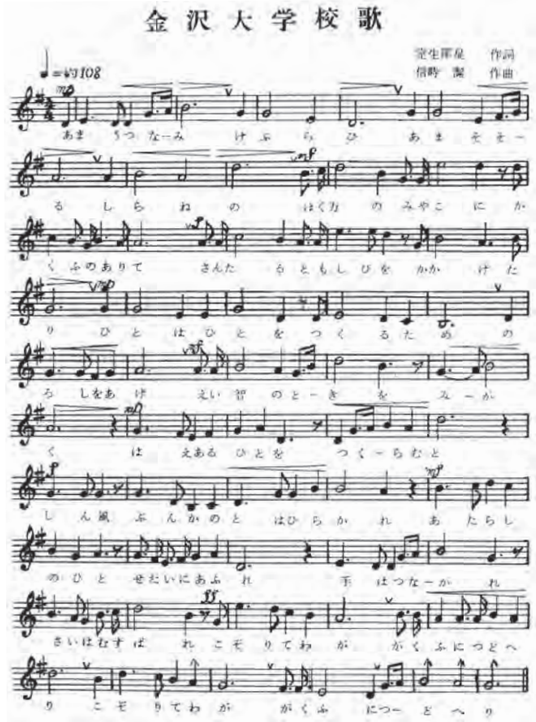
■角間キャンパス

〈「金沢大学自然研前」,「金沢大学中央」,「金沢大学（角間）」〉まで　所要約35分

金沢駅兼六園口（東口）⑦乗場→ 93 94 97「金沢大学（角間）」行

■宝町・鶴間キャンパス〈「小立野」バス停下車〉まで　所要約20分

金沢駅兼六園口（東口）⑥乗場→11「東部車庫」行など
金沢駅兼六園口（東口）⑦乗場→13「湯谷原・医王山」行など
金沢駅金沢港口（西口）⑤乗場→10「東部車庫」行など



天（あま）うつなみ　けぶらひ
天（あま）そそる　白ねの
北方（ほくほう）のみやこに学府（がくふ）のありて
燦（さん）たる燈（ともしび）をかかげたり

人（ひと）は人（ひと）をつくるため
のろしをあげ
慧智（えいち）の時（とき）間（かん）を磨（みが）く
光栄（はえ）ある人間（ひと）をつくらむと

新風文化（しんぷうぶんか）の扉（と）は開（ひら）かれ
あたらしの人　世代（せだい）にあふれ
手（て）はつながれ　才能（さい）は結ばれ
こぞりてわが学府につどへり
こぞりてわが学府につどへり

「金沢大学校歌」の制定

室生犀星作詞のこの校歌は，金沢大学の看板のひとつです。1959 年（昭和 34 年）の創立 10 周年事業として作られました。当初，「歌詞は職員・学生から懸賞募集し，作曲は専門家に依頼する」という計画でしたが，評議会で異論が出たため，作詞・作曲とも専門家に任せることになりました。同年 4 月 18 日，戸田学長が犀星に作詞を依頼，また犀星からの要請で作曲は信時潔に依頼しました。依頼から一箇月ほどして校歌が大学に届けられました。

https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/history_song/

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

2020年8月発行

【編　集】
金沢大学総務部広報室

【所在地】
〒920-1192　金沢市角間町
TEL.076-264-5024　FAX.076-234-4015
https: //www.kanazawa-u.ac.jp/

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013678
VEGETABLE OIL INK
2020.8.4000